

①復興への思いについて

【会議参加者からの意見】

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
22	いつかえられるのか	どのくらいで帰れるのか。帰れないところにお金をもらってもどうしようもない。	01福島
28	帰還	どうしても双葉町に帰れないので、早く手を打って、他の町長さんに見習って行くようにお願い致します。	01福島
30	帰還	本当に双葉に帰れるのか？どこへ仮の町を求めているのか。はっきりとしっかりと町民と話すように町長さんに話に参加してほしい。	01福島
47	将来	孫、子供のことを考えたまち作りが必要。	01福島
51	双葉復興	残してあるものがいっぱいあるから帰りたい。	01福島
56	将来	孫との生活を取り戻したい。	01福島
62	帰宅	帰っていいなら今でも帰りたい。	01福島
63	除染	帰りたくても帰れない。放射能が終わるのに150年かかると言われればもう帰れない。	01福島
64	将来	若者は個々で生活できる。自分たちが双葉で暮らすか、別の街で暮らすか知りたい。けど、孫の将来も心配。	01福島
79	双葉町に帰りたい	双葉町のお墓を守り、お墓に入りたい。（みんなの意見）	01福島
81	子孫の繁栄を	豊かな生活の出来る町を願う。	01福島
82	帰りたい	双葉でも帰れるところがある。帰れないところでも行き来出来るようにしたい。	01福島
90	願い	何もいらない。近いうちにあの世にいきたい。	01福島
91	双葉町	私たちの手できれいにして子孫を残したい。責任があると思う。	01福島
93	帰れない	100年位帰れない。	01福島
133	仕事について	自立できる町に育てるべき。	01福島
179	除染、インフラ整備、若者の住めるまちづくり	元の双葉町に戻れるように除染作業をしてほしい。インフラの整備をきちんとしてほしい。若者も住めるまちづくり。	01福島
214	町づくり	子供たち、子孫に自慢できる故郷を作りたい。	01福島
220	これから	どういう未来を描いていいのかわからない。	01福島
228	荒れ地になった双葉	双葉町は荒れ放題。それを見ると苦しい。	01福島
230	そこが故郷	ご先祖様の土地であり、そこが故郷だから。	01福島
262	復興	近隣のつながりがあるからこそ、復興につながる。	01福島
265	これから	1日でも早く安心できる生活を。安全に生活したい。	01福島
280	町民の声	戻りたくとも戻れない。いつ何年度かをはっきりと示して欲しい。	01福島
284	町民の声	双葉町に早く帰りたい。そのための具体策を示してほしい。	01福島
288	町民の声	双葉町に帰れるか帰れないかわからないので、新しい町など考えられない。	01福島
289	町民の声	長崎・広島のように何年後でも何年かかっても復興・復旧させてください。	01福島
344	双葉町	双葉町を地図からなくさないこと。	02東京
367	双葉で	町が帰ることを考えているなら年寄りには双葉町で最後を迎えさせてやりたい。	02東京
389	元の町	復興という意味が、再び元の町でという限定ならばそれは無理だと思う。	02東京
403	町名	双葉の名前をなくさない。	02東京
416	故郷	子供たちが戻れない故郷はありえない。	02東京
417	コミュニティー	安全で自活できるコミュニティーを作りたい。	02東京
424	放射能	子供や孫が戻れることが条件。若い人がいたくなる環境なら年寄りも近づいてくる。	02東京
426	仮の町	仮の町ってイヤ。双葉町に戻りたい。双葉町に戻ることを目指す。例えばシニアのまち。	02東京
432	自立	子供たちが自立すれば病院や買い物にも便利な都会的な土地になり魅力的になる。	02東京
443	仮の町の考え方	仮の町とは、故郷に帰るまでのコミュニティーの場。双葉町に帰る人だけの町なのか？	02東京
500	同じ町	双葉町と同じ町を取り戻してほしい。	02東京
507	使命	被害にあった双葉町だからこそその使命を果たしたい。	02東京

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
530	みんなで助け合う	これからの生活は不安だらけです。失ったものがあまりにも多すぎて。でも、みんなで助け合って生きていけばなんとかなると思います。	02東京
535	帰りたい	今年中に、明日にでも帰りたい。	02東京
560	除染	除染にお金をかけるなら町をつくってほしい。	02東京
600	故郷	どこかに双葉町が残っている状態にして欲しい。故郷があってほしい。	02東京
605	我が家を見せたい	子供たちを1回だけでもいいから双葉町に行かせてあげたい(我が家を見せたい)。	02東京
620	負のイメージ	負のイメージを払拭して復興を強く前進させたい。	02東京
627	故郷	帰郷した際、自然を見るとほっとした。自然豊かな町にして欲しい。	02東京
629	若い人の意見	若い人の意見を充分に取り入れた町にしてほしい。	02東京
635	将来	子供がいて、双葉にも近い茨城県の筑波付近に土地を買った。老後は双葉に戻ることも考えている。	02東京
652	くらし	狭い部屋は嫌。元のゆったりした家に帰りたい。	03柏崎
653	帰宅	雪はもう嫌。双葉町に帰りたい。	03柏崎
694	復興	誰かが犠牲にならないと、復興にならない。	03柏崎
699	帰りたい	帰りたいのはみんな同じだと思うが帰れない。	03柏崎
806	復興	6町2村は無理でもせめて4町（浪江、双葉、大熊、富岡）は一つになって復興を考えるべき	03柏崎
810	その他	市町村別に分かれず、同じ避難した者同士、同じ方向を向ければ良いと思います。	03柏崎
848	不満	浪江町、大熊町は5年は帰らないと発表した。町ごとに不平等になる。	03柏崎
864	普通の暮らし	働いて生活して社会に貢献し、好きな事をするのが普通の人の暮らし。	03柏崎
865	帰りたい	双葉町が大好きで早く帰りたいです。	03柏崎
900	故郷	故郷は無くしてはならない。	03柏崎
902	復興	復興を第一に考えてほしい。	03柏崎
953	失敗	失敗を資本にする。	04加須
959	帰還	帰りたいけど帰れない。	04加須
961	帰還	帰れない事を前提にすると混乱してしまう。	04加須
962	帰還	帰りたいけど帰れるのですか？	04加須
963	帰還	年齢を考えると本当に帰れるのか不安。	04加須
972	帰還	帰る事ができるかという基本が出来てない。	04加須
976	チャンス	ピンチはチャンス。苦しい時期を乗り越える。	04加須
981	町づくり	帰還したい様な魅力的な町にしなければならぬ。	04加須
985	双葉町	戻れるような双葉町にしなければならぬ。	04加須
986	子供	子供は絶対に戻らないと言っている。子供の所に行くしかないのに、帰れない。	04加須
987	子供	教育を受けるような子供はもう双葉には戻らないだろう。	04加須
1007	若い人の考え	若い人は福島に帰りたいという人はいない。年をとったら違うかもしれない。	04加須
1052	自然	海あり、山あり、川あり、あのような良い所はまずないと思う。双葉町に帰りたい。	04加須
1119	不安	町から若者がいなくなるのが心配。	04加須
1122	力	あらゆるコミュニティを断ちきられた双葉町町民。その私たちが本当の復興を果たしたならば、それは今後の日本の宝になる。	04加須
1128	双葉町の復興	再生の事業は将来の日本の原発事故被災の先導的モデルとなる程のことでありたい。	04加須
1130	将来	始めは少なくとも、有志で魅力的なコミュニティを作れば人が集まるだろう。それを成すチャンスが双葉町にはあるのではないか。	04加須
1156	復興	1日でも早い復興をお願いしたい。家、土地を購入している方が多いと聞く。	04加須
1164	町民	町民が一つになる。	04加須
1184	いい町	双葉町は生まれも住んでいるのでいい所です。もう一度住みたいです。穏やかな町でよい町です。	05いわき
1186	壊れたものは戻らない	一度壊れたものは戻らない。町を再生することばかり考えず、先の未来について考える。	05いわき
1189	仮の町	例え、仮の町であっても町民は戻りたくなくなってしまふ。	05いわき
1195	昔の双葉町はよかった	現在の双葉町を見たら、以前よかった所がうかばない。	05いわき
1199	バラバラ	早く戻りたい。家族がバラバラに。	05いわき
1201	復興とは何か	人間としての復興をまず手助けしてほしい。	05いわき
1207	WG「とんちんかん」より	孫が双葉町を忘れないようにしてほしい。帰れない時の補償。	05いわき
1211	双葉町	双葉町をなくさないようにお願いします。	05いわき

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
1212	自立のために	自立志向の応援を今後の施策面で打ち出して欲しい。仮の町構想と同時平行で進めてください。	05いわき
1214	住みやすい	双葉町は住み良い。早く帰りたい。	05いわき
1225	放置した家	故郷に帰りたいと思うが、何年も帰れなかったら家には住めません。リフォームしなければ住めない。	05いわき
1226	WG「とんちんかん」より	文化的な生活をする権利。人間として最低限の権利を与えてほしい。	05いわき
1227	双葉町	双葉町に帰りたい人帰りたくない人、自由に選択できる方向に進むべき。	05いわき
1229	復興	復興の方法は、たくさんある。片寄ってはいけない。	05いわき
1231	復興	若い人(子供のいる家族)と高齢者、単身者、分けて復興の話をすべきである。	05いわき
1233	復興計画	復興が長引くこと、高齢者はそんなに待てない。	05いわき
1239	早くしてほしい	インフラや除染が進んでいないのに何を復興するのか？今は生活支援のみ。	05いわき
1241	一致団結	町づくりは、役場職員と町民が一致団結しなければ進まない。一部の人にしか情報が伝わっていない。	05いわき
1245	新しい双葉町	素晴らしい、自慢できる町になれば徐々に町民も戻ってくると思います。	05いわき
1247	子供たちに	子供たちに残したくて頑張ってきたのに、残すものがなくなってしまった。	05いわき
1249	新しい双葉町	仮の町でなく、新の町に。日本に一つしかない双葉町ならではの町に。自慢、誇り、心のふるさとに。	05いわき
1250	帰れない	生まれたばかりの人が30年後に双葉町に行くとは思わない。	05いわき
1252	双葉市	広野町は太陽光発電など、インフラや企業が入ってきているので、双葉町は復興するなら、広野町を拠点として双葉市をつくれればいい。	05いわき
1260	双葉町	過去には戻れない。現実には前に進むのみ。以前の双葉町のよかった所を言ってもむなし。	05いわき
1272	風評被害	すごく先の話に感じるのでお年寄りには焦る。	05いわき
1273	法律	特別法でも作る。	05いわき
1279	体調	帰りたいが、体調がよくない。	05いわき
1287	双葉市構想	双葉市構想は悪くない。	05いわき
1290	新しい文化	双葉町としての新しい文化を作っていく。	05いわき
1292	自立	自立しないといけない。	05いわき
1359	これからの町	子供のいない町をつくってもしかたない。	05いわき
1371	復興	復興は早めにやってほしい。	05いわき
1372	まちづくり	帰りたくても帰れない。それを覚悟してのまちづくりが必要。	05いわき
1384	福島	放射能が怖いのはみんな同じ。でも福島を捨てられない。	05いわき
1386	双葉町	双葉町は帰れない。帰したくない。	05いわき
1390	水源	水源がもう汚染されてる。双葉町には戻れないだろう。	05いわき
1391	双葉町	100年後であれば、未来の双葉町をイメージできる。	05いわき
1392	現状	死んでいく人を待たれているような気がしてならない。	05いわき
1413	暮らし	戻りたい。生活基盤の復旧。	05いわき
1418	原発	原発の近くには住みたくないと言っているが、福島に住んでいる人はどうするのか。	05いわき
1422	元の家	せっかく田んぼの区画整理をしたのに、野原になっている。このままどうするには戻らない。	05いわき
1449	原発事故からの復興	一般の震災とは違う原発事故。例がなく復興できるか誰もわからないのでは。	05いわき
1457	復興	東電、役場、町民みんなで一步一步進める。	05いわき
1460	若者の自立	若い人は早く職につき、自立してほしい。自立できるよう、補助してほしい。	05いわき
1514	帰らない	帰ることを諦める。その上で双葉を残すにはどうすればいいかをしっかり考えてほしい。町として帰らない、帰れない意志を固めてほしい。	06郡山
1517	町づくり	他の町にあまり迷惑をかけずにすむような町づくりをしてほしい(場所や下水、ゴミ、教育、福祉)。	06郡山
1521	双葉郡と一緒に	双葉郡と一緒に復興すべき。交通、インフラを整備すれば早く進む。	06郡山
1522	双葉町だけでなく	双葉町だけでなく双葉郡としての全体的な取り組みが必要。	06郡山
1563	我が家	まちづくりは住む家が原点。間借りではない我が家にいるとまちづくりを考えられる。	06郡山
1584	復興	双葉郡がひとつになって考えるべき。	06郡山
1589	情報	双葉町に帰れるのか、帰れないのか知りたい。	06郡山

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
1591	帰還	帰れるのか帰れないのか。帰れるのならばいつなのか。何十年後になってしまうのなら、もう双葉町はなくなってしまったのと同じだと思う。	06郡山
1598	帰還	まちづくり、復興は双葉町に帰れるのか、帰れないのか明確にしてほしい。	06郡山
1610	双葉町	幻想となってしまった。遠い町となってしまった。	06郡山
1611	国有地の開発	浪江町商工会が、阿武隈山の国有林を開発すれば、誰にも迷惑かからず町ができると言っていた。双葉町だけでは住宅ができるだけ。	06郡山
1661	まちづくり	他の町がうらやむような魅力のあるまちづくりをしてほしい。	06郡山
1681	畑づくり	畑づくりを始めたばかり。双葉町での生活に戻りたい。	06郡山
1689	安定を見つけた人	もう既に他の地で安定を見つけられた人は、もう戻りたくないと思う。	06郡山
1690	仕事	仮の町に行くとしても、今の職場を辞めて、将来の年金や退職金の問題が心配。	06郡山
1691	これから	元の双葉町の暮らしに戻れないなら、それぞれの生活を始めたい。	06郡山
1692	生活施設	学校、病院、福祉、商業施設等が元通りにならないと安心して生活できない。	06郡山
1703	帰郷	新しい生活を始めている人も多し中、何人の人が本当に帰りたいと思っているのか。	06郡山
1716	安心して帰れるのはいつか	事故前の放射能レベルにならないと子供たちを連れて帰れないので、安心して帰れるのは何十年後になるのかはっきりしてほしい。	06郡山
1719	はっきりと	本当に帰りたい人はいるけど、現実には難しい。帰れないならはっきりしてほしい。	06郡山
1730	まちづくり	税金の入らない町をつくっても成立しない。	06郡山
1746	私達は	行政支援に頼らず、自主再建を目指す。	06郡山
1748	WG「6号班」メンバーより	私達は双葉町へ帰るつもりはありません。	06郡山
1750	暮らしの選択	帰る、帰らないは自己責任で判断すべき。	06郡山
1751	これからの暮らし	双葉の町民は、各々の県や市に移り住み、市民権を取得する。	06郡山
1760	これからのこと	双葉町もほかの町と同じく、5年間帰らない。	06郡山
1779	子供や孫	子供のために、仕事の事が不安で、双葉町に戻ってくるのは難しい。	06郡山
1782	生活レベル	今まで生活していたレベルの環境を整えてほしい。	06郡山
1783	生活	暮らしを安定させたい。早く仮の町、土地などを決めないと、若い人は離れてしまう。	06郡山
1786	暮らし	早く落ち着いた場所に孫たちと住みたい。	06郡山
1823	帰らない	残念だが、もう双葉町には帰らないと決めた。	06郡山
1866	帰還	帰れることが決まっても、若い人はどれくらい帰ってくるのか。	07つくば
1867	帰還	帰れないならはっきり言ってほしい。	07つくば
1871	国の方針	国の方針が出ないことには先のことを考えられない。	07つくば
1877	復興とは	そもそも復興とは何なのか。	07つくば
1893	ふるさと	ふるさとがもうないと思ってしまう。	07つくば
1955	双葉町の存続	町を存続するために、会議に参加して人とのつながりを持つことは、やはり必要だと強く感じる。	07つくば
1965	事故を風化させない	この原発事故は絶対忘れてほしくない。	07つくば
1969	体制づくり	双葉町独自では難しく、「南双葉」「北双葉」で土台をつくってほしい。集団で動くべき。	07つくば
1972	まちづくりへの関わり方	形が見えないものに形をつくれというのは、私たちはわからない。難しい。	07つくば
1974	踏ん切りをつける	双葉町としての仮の町、将来までの考え方が提示されていない。今の双葉町をどうするのか明示されていない。双葉町をなくしたくないが、踏ん切りをつける時が必要。	07つくば
1976	どんな形で双葉町を残すのか	山田地区のセシウム半減期30年、どんな形で双葉町を残すのか。町の構想が出てもし沿えないこともあるだろう。	07つくば
1979	時間軸を設定	帰らない期間を設定することで、帰らない期間に何をするかということを考える。	07つくば
2001	暮らし	和気あいあいできる暮らしがしたい。	07つくば
2003	若い家族の現状	若い家族は子供の将来が心配。仕事、住む所・・・双葉町のことも大切だが、現状は厳しい。	07つくば
2004	帰還希望	もう一度双葉町でのんびりと暮らしたい。	07つくば
2009	年代による考えの違い	年寄りには双葉町に戻りたいと思っている。でも若い人は戻りたくないだろう。話がかみ合わなくてもやもやしてしまう。どうしたらいいかわからない。	07つくば
2031	双葉町の復興	一日でも早く元の双葉町に戻して、次世代につなげたい。	07つくば
2034	帰還希望	双葉町に帰れることを前提に話し合いたい。	07つくば

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2035	復興とは	浜野の復興なくして双葉町の復興はない。	07つくば
2055	これからの生活	子供たちは先が長いから帰らせたくない。	07つくば
2093	復興について	双葉町はいつ復興できるのか。	07つくば
2095	帰還時期	いつ帰れるのか時期が知りたい。	07つくば
2096	帰還可能かどうか	帰れなければ帰れないということも知りたい。	07つくば
2112	家族との暮らし	核家族が一転して同居できるチャンスでもある。	07つくば
2146	帰還希望者	双葉町の将来は非常に厳しく、隣の自治体と合併する選択肢もあり得るが、帰還者の把握が必要。	07つくば
2177	自然環境	これまでの自然に恵まれた双葉町に戻りたい。	07つくば
2185	希望	希望の光がほしい。	07つくば
2186	双葉が一番	とにかく帰りたい。双葉が一番良かった。寒くもなく、海も山もあり良かった。	08全体
2195	やっぱり双葉に住みたい！	どこでも当面は住めるが、終着駅は双葉町がいい。	08全体
2196	真の復興とは？	復興はふるさとに帰ってこそ。仮の町は復興でない。	08全体
2197	見えない見通し	帰れるか帰れないか、先が見えないので自分たちのこれからも決断できない。	08全体
2200	やっぱり双葉町民は一つ！	あまりに町民が分断しすぎると、町のコミュニティの維持が図れるか不安。	08全体
2220	帰還を望む	私の家には40年は帰れないだろう。でもいつかは帰りたい。	08全体
2223	帰還を希望	40年経たなければ帰れない。どこにでも住めるが双葉町に帰りたい。	08全体
2236	事故収束を願って	事故以来、原発収束に携わっている人々には感謝している。そこには地元の人も多くいるから。	08全体
2243	双葉を忘れないで！	立場それぞれだが、福島のことを忘れられかけている。	08全体
2247	政権交代による事故の風化	政権が自民党になると、放射能事故は忘れられてしまうだろう。	08全体
2255	町のあり方を考えるとき	町のあり方は中長期的な構想で考えていくのがよい。	08全体
2257	復興に向けてできること	復興への提案とは、まずは何事にも自ら参加すること。	08全体
2258	帰還について	認知症の母が月に1~2回、いつ帰れるのかと聞いてくる。当面は帰れないと言っている。	08全体
2259	復興とは	みんな帰りたい。復興とは自分の場所に帰ること。仮の町ではない。	08全体
2260	中途半端な復興	現在、帰れるか分かっていない。はっきりしてほしい。	08全体
2284	これからの生活	当分は帰還できないから、今の生きがいを見つけていきたい。	08全体
2301	双葉町への帰還	帰還困難区域では「5年」と言われているが、正直5年経っても帰れないと思う。	08全体
2310	復興	1人1人が幸せに暮らしていけることが復興である。	08全体
2314	真の町	子供、若者が住みたいと思われる町にしないといけない。無理を強いることはできない。	08全体
2330	つくば	つくば避難者で帰りたいと言った人は聞いたことがない。	08全体
2335	新潟との違い	新潟と違うのは双葉には帰る土地がない。	08全体
2340	本当の復興	子供が継いでいけることこそが、本当の復興。慌てて戻っても仕方がない。病気になるまでわからないのだろうか。	08全体
2365	今度どうしたいか	なるべく早く、できるだけ町民みんなで福島県内に戻りたい。	東京G
2369	双葉町に戻れないと思う理由	双葉町に帰りたいが、基本の水が汚染されている、30年は無理だ。	東京G
2370	双葉町に戻れないと思う理由	住むことは出来ても仕事場、食べるものがない、帰る事は困難、また病院通いなどを考えると田舎には帰れない。	東京G
2373	本来行きたい場所	できる事なら双葉に戻りたい。無理な事はわかっているが気持ち的にはあきらめたくない。	東京G
2393	帰還時期	帰れない、帰れるとしたら何年後なのか、町は明確に言ってほしい。	東京G
2395	国の方針	国は除染して帰らせることを前提ですべてを進めているが、帰れないと皆思っている。そこにズレがでている。	東京G
2397	一つになる	1人1人やっていても弱い、町全体として、郡全体として動くべきだろう。	東京G
2408	原発事故をみて	原発事故をみて、私達家族はもうここには帰れないという決心をした。子供にも津波に流されたと思って一から考えると言って話している。	東京G
2431	双葉町に戻りたいか？ ①	当初は帰れるかもしれないと思っていたが、事故後1年9ヶ月、状況が変わらない事と見通しが長い事、今もまだ危険だと言う事がわかってきた今となつては、もう戻る気はない。	東京G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2432	双葉町に戻りたいか？ ②	当初は戻りたいと思っていたが、一時帰宅を重ねるごとに廃墟のように変化していく町を見ていると、再生は不可能だと感じる。もう人の住めるところではないと実感するので、最近はおきらめがついた。	東京G
2458	忘れられること	何か他の大きなことが起きたら、この震災・原発事故のことを忘れられてしまうのではないかと恐い。覚えていて3、4年か。そうすると廃炉作業だって最後までやるかどうか疑わしい。	さくらG
2489	帰還について	50年先のことは誰もわからない。	さくらG
2490	帰還について	年寄りには、皆早く帰りたいと思っている。	さくらG
2491	帰還について	行き先が決まらないのであれば、いつ帰れるのかを教えてください。	さくらG
2501	意見の収集について	双葉町に戻る考えは、10～20年はだめだろう。中学生の意見を聞くことが重要。	さくらG
2509	帰還について	帰りたくない人はいない。諦めきれない人と、諦めている人がいる。	さくらG
2512	帰還について	双葉町には帰りたい。でも現実問題として帰れないと思う。	さくらG
2518	帰還について	簡単に年数を言うてほしくない。先が見えない、過去に例がない、不安ばかりである。	さくらG
2545	双葉町への帰還について	国が「双葉町は戻れるor戻れない」をはっきりしてほしい。	日和田G
2546	双葉町への帰還について	双葉町に帰れるか帰れないか、国も県も町もはっきり結論を出してほしい。	日和田G
2625	双葉町への帰還について	帰るのに20年以上かかるのであれば「仮の町」ではなく「移住の町」である。帰れないならばはっきりいってほしい。	会津若松G
2626	双葉町への帰還について	何も決定しないまま時間が過ぎれば、誰も帰らない町になる。	会津若松G
2633	双葉町への帰還について	仮に「5年後にもどる」としても、今の中学、高校生は就職してしまう。こうなればもう双葉町には戻ろうと思わないことは明白なのに、「絆」といわれても意見を出しにくい。	会津若松G
2634	双葉町に対する意見	「がんばれ」といわれても、何も決まらない中で何をがんばればよいのかわからない。	会津若松G
2635	双葉町への帰還について	地震ではどこも壊れなかったのに、元の家の状態は酷い。ねずみの被害が酷く、死骸のにおいも酷くて吐き気がするほどで、もう帰れない。	会津若松G
2645	双葉町への帰還について	国が指針を示さない限り、双葉町の我々の今後の方向性も決められない。「帰れない」のならばはっきり決断してもらわないと具体的に先のことが決まらない。	会津若松G
2646	国の果たすべき責任	現在補償を受けているが、先が決まらず将来が見えないからお金も怖くて使えない。国がはっきりしないと、我々は将来設計をしたくてもできない。	会津若松G
2648	生活再建について	「帰れないので自立してください&生活再建のための補償を出してくれる」となれば、皆自分で将来の選択をするつもりだ。	会津若松G
2650	双葉郡への意見	8町村の組長がみんなバラバラでは、国や県への要求力も分散してしまうので、双葉郡がまとまるべき。	会津若松G
2651	生活再建するうえでの要望	将来については、自分たちの選択肢を入れる条件を設定してもらえないと決められない。仮の町に行くのか、個人で決めた生活再建の場に行くのかを決めるためにも、国や県や町が早く決めてほしい。	会津若松G
2652	生活再建をするうえでの要望	「仮設」とか「仮」とか「復興」とかから早く卒業したい。自分たちだけ騒いでも何も進まないで、基本的な方針を早く出してほしい。	会津若松G
2661	双葉町には戻れない	ペットと暮らし、畑をやっていた良い生活だったが、双葉町にはもう戻れないと思っている。自民党政権は、原発だけを作り、避難道路を1本も作らなかった。そのことを聞きたい。	会津若松G
2665	お年寄りの希望	お年寄りには「双葉に帰りたい」「双葉で死にたい」という人が多い。現実、今すぐに帰れなくても、そのようなお年寄りが希望を持てる計画を作してほしい。	北幹線G
2670	区域再編	区域再編の話も、お年寄りが希望を持てるようにしてほしい。もちろん帰れるものなら誰だって帰りたいけれど、お年寄りには先がないのに、30年も帰れないと言われたら生きる希望を失ってしまうかもしれない。線量が低い場所があるのなら、そこから何か帰れる方法を考えてほしい。	北幹線G
2671	住まいの再建	すでに、自分たちで借金をして、土地と家を購入して新しい生活を始めている。自分は、震災の翌日には、もう帰れないと自己判断していた。老後のためにと貯めてきたお金があったので、何とか自分たちで再建できた。そういう人も中にはいるけれど、そういう人ばかりではないので、みんなが救われる方法を考えてほしい。	北幹線G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2678	双葉町への帰還について	具体的に「帰れるのか」「帰れないのか」が分からなくては、私たちは本当に困ってしまうので、早く決めてもらいたい。	北幹線G
2683	双葉町への帰還について	セシウム137は半減期30年で、空間線量も現在空間線量20マイクロシーベルトだから20年は帰れない計算になる。信頼できる専門家に早く調査してもらって「帰れる」「帰れない」をはっきりしてほしい。	北幹線G
2684	双葉町への帰還について	いつ帰れるのかをはっきりしてもらいたい。	北幹線G
2691	生活再建について	「帰りたい」といつている場合じゃなく、「帰れない」のを前提として今後のことを考えるべきだ。	北幹線G
2694	双葉郡の今後の方針についての意見	双葉郡の町村が一緒になって復興の計画をつくるべきだ。	北幹線G
2700	双葉町への帰還について	どんなに早くても20年帰れないということを考えれば、20年後は7000人の4分の1は他界している。だから帰れるなんてことは、ほとんどの町民が考えていないと思う。	北幹線G
2701	双葉町への帰還について	「帰れる」ようになって、その後「暮らせる」ということには、単純には結び付かない。	北幹線G
2715	双葉町への帰還について	一時帰宅で自宅に行ったが、ネズミの糞がひどいし、障子はボロボロ、家の傷みがひどくて帰りたいとは思わない。	北幹線G
2716	双葉町への帰還について	帰りたくても現実問題として、線量が高くて帰れない。	北幹線G
2718	東電の補償について	賠償問題が決着しなければ、次の生活を始められないので早く決めてほしい。うちは線量が高くて40マイクロシーベルトもあるので帰れない。	北幹線G
2719	双葉町への帰還について	うちの線量は20マイクロシーベルト、お墓のあたりは40マイクロシーベルト位あるので、帰って住むことは考えていない。	北幹線G
2720	双葉町への帰還について	地震では壁が落ちたが、すぐに直せないから家はどンドン傷んで住めなくなる。牛が物置をあけて漬物を全部食べていた。糞もある。もう帰って住もうとは思わない。	北幹線G
2721	双葉町への帰還について	イノシシとブタの雑種が野生化して危ない。一時帰宅でも危ないのに安心して暮らすことなど想像できない。	北幹線G
2722	双葉町への帰還について	うちの畑は、黄色い花が咲く草が生い茂って、畑も使い物にならない。	北幹線G
2724	双葉町への帰還について	帰ってみたいって生活できないのだから、新しい場所での生活を想像している。双葉町に帰りたいが現実的に無理なのだから。	北幹線G
2726	生活再建について	こんな年をとっているのだから、皆仲良く暮らしていくつもりなので、方針を早く決めてほしい。	北幹線G
2729	双葉町への帰還について	一時帰宅で家を見たがすごかった。地震が起きた時のままなので、もう足の踏み場もない。	北幹線G
2738	生活再建について	1年8か月経ち、もうすぐ2年だ、そうこうしているうちに3年もあつという間にたつだろう。中学生は入学して校歌も覚えないうちに卒業するようになってしまう。私たちも、この歳になっても同級生は懐かしくていいものだと思っている。今の双葉町の子どもたちが、そういう思いを持ってないまま育ってしまうのはかわいそうだ。一日も早く、もっとしっかり復興を考えてほしい。	南台G
2750	当たり前の生活	ぜいたくがしたい訳ではない。足元がしっかりとっていて、きちんと税金を払えるような生活がしたい。	南台G
2761	双葉町への帰還について	双葉町は100年帰れないと聞き、その後160年とも聞いた。テレビを見ると、学者が集まって信憑性のある結果を得るといいうが、帰れたとしても暮らせないと思う。	南台G
2763	双葉町への帰還について	双葉町、大熊町は帰れないと思う。たとえ、ひとり帰っても、隣り近所の人がいなくて生活が成り立たないので、帰れても暮らせないだろう。	南台G
2764	双葉町町民のやるべきこと	選挙でどこが政権をとったとしても、私たちの生活再建の補償をしてもらいたい。たとえ東電が破たんしたとしても、我々も文句ばかり言っても前に進まないのだから、「こうしてもらおう」という想いを伝える次のステップにいかねばならないと思う。	南台G
2804	双葉郡の町村による復興について	富岡町町長が、双葉郡が各町村いがみ合っているのではなく合併して、そのうえで意見を集約して復興を目指すしかないのではないかと考えていたが、その通りだと思う。	さくらG
2805	双葉郡の町村による復興について	双葉郡が全部集まったとして7万~8万人の人口で、その辺の市よりも小さいのだから、合併は不可能ではないと思う。	さくらG
2812	双葉町への帰還について	双葉町に帰れるか？と聞かれれば、帰れないと思う。	さくらG

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2813	双葉町への帰還について	帰れないと思うが、鮭と同じで帰りたいという希望はある。いつまで経ってもゼロにはならない、でも現実問題そうはいかない！というのが本音。	さくらG
2824	双葉町の再建について	いずれにしても30年も50年も帰れないのだから、我々なんか既に死んでいる。それに戻れる区域に居る人が、果たしてどれくらい戻るだろうか。おそらく1割くらいしか戻らないと思う。	さくらG
2825	双葉町への帰還について	三宅島の時ですら帰島した人は50%を割っているそうだ。それを考えても、双葉町は町として存続してやっていくのは困難なのではないか。だから双葉郡がまとまる必要があると思う。	さくらG
2834	双葉町への帰還について	5年後に帰ると仮定しても、その時既に他界している高齢者もいる。帰ったとしても、人がまばらでは生活できないので帰るのは難しい。今だって皆一緒にいるから元気でいられるのだと思う。	南台G
2835	双葉町への帰還について	加須で大学教授が言っていたが、1マイクロシーベルトまで下がるのに160年かかるそうだ。だから双葉町に帰ることは難しいと思う。	南台G
2843	双葉町への帰還について	一時帰宅したとき、自宅はネズミの糞だらけだった。あそこに住むのはもう無理だ。でも朽ち果てていくのは悔しいので、土地、建物は手放したくない。帰りたいけど帰れない（住めない）のが実態。	南台G
2853	復興の進め方への意見	波江町長だって皆で集まって会合を開催している。いろいろ言われながらも復興に向けての取組みが決まっている。双葉町だってそのようにやるべきだし、そうしなければ何も決まらない。	南台G
2873	国や県との対応についての意見	一時帰宅するたびに家が傷んでいるし、避難する際、灯油満タンにしてあったことが心配。私もパトロールで行ったが人が足りないの、双葉郡全体でやるとか県の支援を貰うとか、国にはこれ、県にはこれという風に、支援内容を取り決めていくべきと思う。（補償はその後でもいいから）家がどんどん傷んでいっては帰る希望も失せてしまう。	南台G
2888	ふるさと双葉町について	自分は浜通りに家があったので、津波で家族も失ったが、家もお墓もすべてを失った。 帰りたいという町民は、帰る家があるのに帰れないから。帰るところがない私にとっては、双葉町に帰りたいとは思わないし、「双葉町」という場所にいつまでもこだわっていても仕方がないと思う。双葉町はなくても良いと思っている。その上で、原発の後処理のために国に買ってもらえばいい。 双葉町に帰ることはあきらめた方が良い。	南相馬G
2899	双葉町への帰還について	双葉町の自宅は地震の被害はほとんどないが、ネズミの被害がひどい。〇〇年後に帰るとしても生活を始めることは難しい。今すぐ戻れるならまだしも〇〇年後なんて想像できない。	南相馬G
2906	復興への取組みについて	正直言えば、双葉町に戻りたいが10年後のことなんて誰もわからないのだから、まず今のことを考えなくてはいけないのではないかな。	南相馬G
2907	双葉町への帰還について	現実的に今は帰れないだろうなという想いはあるが、ふるさとを失いたくない。私ら（60代）は別にどうでもよいが、孫たちの故郷を残してあげたい。孫の時代で双葉町で生活できないのなら、第2の故郷という形でもいいと思う。	南相馬G
2908	双葉町への帰還について	双葉町へ帰りたいという思いは分かるが、現実的に、実現することを考えていかななくてはならない。	南相馬G
2909	双葉町への帰還について	双葉町に帰るとしたら、いったいどのくらいの人が帰るのだろうか？おそらく1割くらいではないのか？	南相馬G
2910	復興への取組みについて	原発難民というが、戦争などの「難民」は戦争が終われば帰るところがあるが、我々は帰るところがない。だから「双葉町に帰る」という議論の前に、もっと近い「これから」を決めるべきだと思う。	南相馬G
2925	双葉町を含めた双葉郡全体の復興をするための提案	もともと大きい商業圏（大熊町や浪江町のお客も多々あり）で商売をしていたので、双葉町だけが「帰れるか帰れないか」を議論するのではなく、双葉郡がまとまって復興を考えてほしい。	郭内G
2931	これからの生活を考えた場合の希望について	向こう5年間くらいは、大熊町と同じような方針（区域再編、補償対応、自治体機能、復興への取組みなど）でやってほしい。周囲（双葉町民）の話も聞いても8割は、このような希望だ。	郭内G
2933	双葉町町民の意見の聴き方に関する希望	「帰れるか、帰れないか」は、役場機能がいわきに来て、新しい生活が始まり、目途がついてからでないと判断ができない。	郭内G
2967	双葉町に帰るか否かについて	今の双葉町には、環境条件上、帰れないと思うし、「自分の家で知らない人が生活している」なんていう話を聞くと、双葉町には帰れないと思うので、早く補償を決めてほしい。	郭内G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2984	中間貯蔵と区域再編	中間貯蔵の問題も、区域再編の問題も、国の計画の見通しが出されていないことが問題である。帰還困難区域を最低5年は帰れないとしても、その先の見通しがはっきりしていなかったら何の解決にもならない。中間貯蔵も最終処分場から廃炉までの現実的な計画をしっかりと示されなければ、協議にもならない。	郭内G
2986	ふるさと双葉について	中間貯蔵については、国のしっかりとした計画が出されて初めて判断できるものだが、他の地域を汚染させるくらいなら双葉町におくのも仕方がないと思う。でも、ふるさとは失いたくない。地図から「双葉町」という名前はなくしたくないと思っている。	郭内G
2990	双葉町の復興への取組みについての意見	双葉町町民のなかには、主体性を持って自治会活動などを行っている人もいるので、そのような人を活用（雇用）して双葉町町民のサポートをしていくことも考えてはどうか？	県中借上げ自治会H
2997	井戸川町長への意見	双葉町の復興を進めるためにも、国や県との話合いの姿勢で臨んでほしい。双葉町だけでなく双葉郡皆で復興を考えて進めてほしい。	県中借上げ自治会H
3008	復興を進めるうえでの流れについての意見	住居や資産の賠償を早く決められるように、「帰れるor帰れない」を決めるべき。帰るのを目的に復興しようとしているのか、帰れないのを目的に復興しようとしているのかを決めるのが、復興のスタートラインだと思う。	白河婦人会H
3018	これからの生活場所の希望	双葉町に戻れたとしても、子どもたちは戻らないと思う。なので、子どもたちが帰って来られる中通りに家を求めたい。	白河婦人会H
3027	中間貯蔵施設について	原発反対よりも、双葉町町民がこれからどのように生きていくかを考えてほしい。	白河婦人会H
3039	帰還を希望する人もいる	自分は、もう放射能があるところに行く必要はないと思っている。でもどうしても帰りたい人もいる。今まで一緒にいた双葉町の人間として、そう思っている人のためにも役に立ちたいという思いがある。	埼玉G
3042	若い家族が希望する場所	若い人は福島には戻らないと思う。自分も子供は絶対に連れて行かない。	埼玉G
3045	帰還の可能性	帰りたいと言っている人がいるが、それが本当に実現するかは疑問。国会も東京電力も現実味が無い。	埼玉G
3059	仮の町の方向性	仮の町の場所を早く示さないと、遅くなればなる程若い人は自立していく。小学校、病院、幼稚園をつくると言っても、人が集まらなければ意味がない。早めにある程度の方向性を示してほしい。	埼玉G
3064	終の棲家を希望	双葉町の家は難しいと思うが、出来ることなら、避難所ではなくて自分の家で最期を迎えたいと思っている。国や行政はどのように考えているのか。何も進んでいないように見える。	埼玉G
3085	ふるさとの復興	仕事の関係で、震災前から埼玉県で生活をしている。もう20年近く経つが、ふるさとについて何か思うことは聞かれたら、今すぐに帰ることはできないけれど、仕事を定年になったら、今住んでいる埼玉の家を売り、老後の資金としてふるさと双葉町に戻ろうと思っていた。でも、帰るふるさとを失ってしまったので、どうしようかと考えている。震災当時、双葉町に住んでいなかった人でも同じような思いの人が居ると思う。そのような、いつかふるさとに帰ろうと思っていた人を含めると、もっと被害は大きいものだと思う。	埼玉G
3097	これからの生活場所	仮の町が福島にできたら帰りたい。息子の家族は郡山に借上げ住宅を借りて、息子はいわきの会社の寮から原発に通っている。なので、帰るまでいかにして健康を保つか考えている。元気で帰りたいと思っているし、こういうことは気の持ちようでも明るくないと明るくないと思っている。	埼玉G
3118	仮の町が成り立つ条件として	やっぱり若い人は帰らないでしょう。結局、おじいさんおばあさんが戻っても都会に子供がいたら行ってしまふ。20年もすれば誰もいなくなってしまう。	埼玉G
3182	双葉町町民でいることについて	そもそも双葉町民は今いるのかと思ってしまう。戸籍上は双葉町だが、住んでいる人はゼロ。いつまでも双葉双葉と言ってそんなことをやっても、いつ帰れるか分からないのに何も進まない。	埼玉G
3183	双葉町町民でいることについて	二重住民票があって、元双葉町のどこどこにいたと、それを管理するだけの役場で将来はよくなるのでは。	埼玉G
3186	失ったもの	百年もあった土地が買えるか。どうしてそんなことを平気で言えるのかと、国会議員さんに言った。自分の家がなくなった悔しさ、あんなたちは知っているのかと。	埼玉G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
3187	失ったもの	津波で全部流されたら、全部なくなってあきらめもつくが。家の中はねずみなんかが住んで、涙が流れる。仏壇の前なんか。それは体験した人じゃないと分からない。でもそれを思ってもしょうがないから、前向きになるしかないから、だからその町の住民になるしかない。	埼玉G
3199	帰町について	早く帰れるかどうか、原発次第だと考えている。	埼玉G
3200	帰町について	プルトニウムが落ちているところが、4力所か5力所がある。完全に帰れるまで150年と聞いた。6号線のあそこが一番高い。	埼玉G
3201	帰町について	今いろいろ(除染技術が)発明されているだろうから、何十年後とかには希望があるかもしれない。	埼玉G
3202	帰町について	入れない。何百年かかるだろう。みんな怖がって来ないだろう。東京とかの線量が高いホットスポットはよけて通るくらい。	埼玉G
3203	帰町について	核燃料をとらない限りはどうにもならないと思う。	埼玉G
3220	生活再建	避難先で畑を借りるなど、何人かは自分の進路を決めて前進している人がいる。双葉町に戻るのを待っているわけにはいかないの、自分たちで心豊かな生活ができるように動きださなければと思っている。	埼玉G
3221	まちづくり	若い世代のコミュニティをどうつくるかが大事。若者が主体となって魅力的なまちづくりを考えることから、持続可能で高齢者の支えにもなるまちへつながる。	埼玉G
3236	福島には戻らない	うちの家族の場合は、弟夫婦も同じ路線に住んでいるし、母は運転もできず、買い物に行くにも一人では難しいため、福島に帰ってもメリットがないと思っている。しかし、母は帰りたいたいという気持ちを持っている。	埼玉G
3237	仮の町について	しっかり除染されて、自分の元の町、土地まで帰れるだろうなと思うことがわずかな希望。双葉町の近くに、仮の町ができれば、双葉町に通うことも出来るかなと思っている。少しでも(双葉町の)近くに住めるのであればそれでいい。	埼玉G
3243	避難生活について_双葉町コミュニティ	年月が経つと、年配の方が戻れるのかどうか、その次の世代、次の世代、孫やその下の曾孫の世代が戻らなくなってしまったら、鴻草の地区が成り立たなくなるのでは、ということがとても心配。もし戻れるようになった時に、人口がかなり減ってしまうのではないか。	埼玉G
3303	年代による意見の相違	若い人と年配者の考え方が違う。	埼玉G
3304	年配者の希望	年配者は「帰りたい」と言っている。	埼玉G
3305	国、行政による宣言	国や行政は「帰れない」と断言するしかない！	埼玉G
3306	帰還困難	本当は帰れるはずがない。	埼玉G
3327	生きる目標としての帰還	いつになるか分からないけれども、帰る(ふるさとを取り戻す)ということが目標としてあるから頑張れる。	埼玉G
3328	帰還は困難なこと	自分たちが生きている間に帰れないことは分かっている。	埼玉G
3330	故郷を残す	ふるさとは失いたくない。	埼玉G
3331	心の故郷はあってほしい	帰れなくても心のふるさとは必要である。	埼玉G
3344	これからの生活への希望	1日でも早く落ち着いた暮らしがしたい。	埼玉G
3394	復興交付金の使い道	復興のお金は私たち被災者に使われるべき。	つくばG
3401	双葉郡での議論が必要	双葉町だけでなく、郡として広域で物事を考えるべき。	つくばG
3413	精神面について	(みんなでまとめた意見) 何度も転々とする不安な生活には耐えられない。肉体面はもとより精神面も辛いので負担を軽くして、安定した生活を送りたい。	つくばG
3414	考えるべき事	一番考えるべきことは、子供たちの未来について。	つくばG
3415	復興交付金の使い道	復興交付金の使い方について、宝の持ち腐れ、税金のムダ。	つくばG
3417	帰町について	双葉町に帰りたい(中2)	つくばG
3422	帰町について	ずるずるせずに、何年は帰れませんか決定してもらえれば、変に双葉町に執着しない。着の身着のまま家から離れてきちんとお別れできていないから。未練が残るのかも。	つくばG
3423	定住確定→仕事再開	まずはつくばへの定住が決まるのが前提になり、その後のステップとしてできるのは、こういうように暮らしを改善するために何かができるか話合うことだと思う。	つくばG
3434	つくばへの定住を希望	つくばに住み続けられる確約があれば、私たちはここで復興する、この思いでまとまることができている。	つくばG
3442	山古志村復興の例	山古志村の話が出たが、山古志村は原発がないので復興ができる。でも双葉町は違う。	つくばG
3460	今後の生活場所について	福島に戻りたい人は別の気持ちもあると思うが、自分は子供のことがあるので戻るつもりはない。	つくばG

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
3466	帰町について	「ふるさと双葉町」と言っても、汚染されたところに戻ろうとしているのは間違っていると思う。	つくばG
3467	帰町について	町は双葉町に本気で戻ろうとしているのか。	つくばG
3476	つくばでの生活への迷い	自転車で行ける場所に何でもある、つくばのようないい環境は他にはないと思う。ただ、そこに甘えてはいけないと思う。今まで持ち家だった人が、軒先を借りるような状況でいいのかと感じる。	つくばG
3477	自立した生活を目指す	仕事でも何でも、人として扱ってもらえない状況（避難者）のままでなく、自立して生活のサイクルを戻した上で、賠償なりを受けるべきだと思う。	つくばG
3483	公務員宿舎の改修を希望	復興財源を有効に使ってほしい。 ここは広くていいが、結露や断熱がよくないから、そこを改修するのに使ってほしい。	つくばG
3500	帰町について	双葉には戻れないと思う。 医師からは、30年から150年は戻らない方がいいと言われた。	つくばG

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイノート
3	分散型か集中型か	ここ数年先を見ると現在住んでいるところに分散型であった方が良いと思われるが、双葉町に戻れるのは何年先かわからない。こんなことからスタートは中々集まらないが、双葉には何年かかっても帰れるのだ、と考えると集中型でつくっておきたい。スタートを考えた場合、2ヶ所になるかも知れないが、県外の放射能のないところ、県内でも放射能の低いところがいい。	ノート
4	自分として住むを考えると	自分として住む。以前は何があっても双葉と考えていたが、帰れないのが分かってくると、当面は生活ができるのであればどこでも良い。サラリーマンだったためか。でも双葉に戻りたい。後40年か。	ノート
21	除染について	早く双葉町に帰れるようにして下さい。 他の町村も除染をしているので双葉町もやって下さい。	ノート
67	双葉町で生活可能なか明確にしてほしい	国（復興大臣等）と町（町長、町会議員）から、東京電力の福島第一原発の復旧作業状況及びインフラ復旧可能時期、雇用環境、教育環境等を判断（予想）され、きちんと何年後に戻って、双葉町で生活可能なか発表して欲しい。 いいかげんに期待を持たせるような発表は止めて欲しい。5年後かな、いやもっとかなというのは、よくないと思う。もし帰宅不可というならはっきりと発表して欲しい。残念無念になるが、しかたがないと思う（住めないのだから）。一方、賠償については、移転地で十分生活出来る額を考慮して欲しい。	ノート
79	帰宅	帰れるのなら帰りたいです。誰でも同じですが、土もいじりたいし、また、畑もしたい。種をまいて、いろいろ植えて、いっぱい思い出されます。	ノート
82	町への帰還	町に帰れる、帰れないをそろそろはっきりしてほしい。	ノート
91	損害賠償について	国策で行ってきた原子力行政であり、国、事業者は最後まで責任を果たすことが義務である。復興交付金のばらまきが問題となっていたが、帰還困難地域においては、除染についても再検討するなど、費用を無駄にしないためにも除染費用を賠償に充ててほしい。	ノート
93	国に望むこと、町に望むこと	私も双葉町に戻って今まで通りの生活をしたい気持ちは持っている。しかし、現実には厳しい。震災前の町に戻すことは夢のように思える。町の復興は、国の責任でしっかりとやっていただきたい。町は町民の生活支援を重要視すべき。	ノート
112	ひとりごと	原発事故から1年9ヶ月になるが事故は収束してなく、復興は進まず、国や国会議員は本気で私たちを考えているのかわからない。	ノート
115	原発	原発地の人間をどう考えているのか理解に苦しむ。全国会議員さん、苦しみ耐えている人間を人間扱いしているのか。国を良くしようなど誰も信じない。原発が収束するまで補償して頂けるのか心配だ。原発事故で部落の方、となりの友人の方々、バラバラになってしまい淋しい、くやしい。	ノート
124	復興について	高齢となった今、残された時間は少ない。一刻も早く前へ！！	ノート
142	7000人の復興会議に関する「見解」について	双葉町の復興に尽力されている皆様へ感謝いたします。町から、意見を述べるようにと資料が送付されてきました。自分の「生活」を再建するのにいっぱいです。年もとってきました。残された人生を周りの事柄に影響されずに生きていきたいと考えています。 以下に意見を述べますが、残念ながら「批判的な意見」になってしまったので、送り返すのをためらいました。それでも、何も語らないのは失礼と感じ送ります。 結論は、もう双葉町に帰還して生活する意思は持っていません。 参考にならないと称して、「破棄」されるもよし。「参考」にされるもよし。ご自由に「扱い」ください。	ノート
150	双葉町には戻らない	拝啓 年月の経つのは早いもので、また寒い時期となりました。お仕事に励んでおられると思いますが、双葉町民のために、骨折って下さっていることを心から感謝いたします。将来に対する見通しや見込みが確実に出来ない現状ですので、双葉町に戻る意思は全くありません。様々な会議や活動にも参加できる状況ではありませんでした。ノートは白紙のままです。悪しからず、皆様お体に気をつけられますように、 敬具	ノート
155	仮の町について	一時帰宅するたびにもう双葉町に戻って生活する気にはなりません。まして若い人達、子供達は戻らないでしょう。私達だって5年～10年先を待っているわけにはまいりません。将来がぜんぜん見えてきません。福島県内のどこかに仮の町を作ってほしいです。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
158	双葉町の場合	徐々に放射能が低くなっているとはいえ、いつかまた爆発しかねません。とても安心して住める町ではありません。私は戻るつもりはありません。	ノート
160	転機の時	人生にはさまざまなことが突然起こるものではないかと思えます。なかでも事故、病気、地震など不可抗力なものほど、衝撃は大きく、人生の転機を迎えざるを得ません。誰の人生においても何事もなく過ぎることはありえません。自分の身に降りかかってきた苦境に対して、どのように向かい合って切り抜けていけば良いでしょう。	ノート
161	希望に向かって	今ここに生かされている自分自身という存在の不思議さに気づきます。私たちは自然に生と死、出会いと別れ、不条理としか思えないようなすべての現象の中にさえ、人間のささやかな畏敬の念とともに深い感謝を覚えずにはいられない。この年齢に達したからこそ、また、いかに多くの人々や物に支えられて生きてこられたかを振り返って、新しい人生を素直に肯定して、元気に次の一步を踏み出すことが必要です。	ノート
162	復興の見通し	23. 3. 11の大震災及び原発事故から2年近くなろうとしているが、未だ先行きが不透明である。双葉郡内の町村では最も遅れているのではないかと。特に新しい避難3区域の指定については、復興計画の前提にもなる、もう少しスピード感をもって結論を急ぐべきである。中間貯蔵施設等難しい課題も多いが、町の考え方が良くわからない。基本的な考え方を早く示してほしい。	ノート
163	復興計画の工程・財源	町民が故郷・双葉町に帰還できるのは10年後という説もあるが、とくに高齢者にとっては10年は余りにも遅すぎる。計画づくりや国、県との協議に時間が割かれて、除染やインフラの整備等が遅れてしまうのではないかと。せめて5年後位には故郷に帰れるよう工程表を作成すべきである。また、復興に要する経費は、莫大な額になると思われるが、それは当然国費が大部分であろう。国費を充当するとすれば、大震災から時間が経過すればする程、その確保は難しくなる。とにかく、早く事業が実施できるよう最大限努力すべきである。	ノート
165	郡内町村との協調	現在、避難している人、特に若い人は故郷に戻らないと言っている人が多い。故郷に帰還する日時が遅れると更に戻る人は少なくなると予想される。従って帰還時期を出来る限り早めると共に、郡内8町村が協調して、除染やインフラの整備を実施し、必要によっては適切な町村の合併も考えて良いのではないかと。今後人口の減少が避けられず、公共施設等の維持が単独の町村では出来なくなるのではないかと。双葉郡以外の市町村は前回かなり合併している。	ノート
182	双葉町に帰りたい	多少線量があっても、双葉に早く帰りたい。平均寿命まであと五年しかない。	ノート
185	仮の町について	除染方法の開発をして除染に力を入れてもらいたい、故郷に戻りたい、仮の町をつくるより、現状で戻れる日を待ちたいと思います。帰れる工程表を早く示してほしい。	ノート
202	ところでみんなでまち作り...	私はこれから5年後それとも10年後、私には老齢で何にも考えられません。まして役場そのものが埼玉にあり、来年植田あたりに来るとかいわき市から遠すぎて私達には何にも望みもありません。やる事が遅すぎて、いわきに住んでいる私達のような者には何の支援もなく自分のことではいっばいいいっばいです。双葉町を作るなんて土地もない、これから一箇所に作るなんて出来ないと思う。郡山、福島、いわきに何ヶ所かになんていうことは双葉町はなくなります。遅くなれば待ちきれない人は自分で土地を求め家を作ります。	ノート
206	双葉へは戻れない	私は双葉へは戻れないけど多分皆さんも望んでいない人が多いと思います。早く双葉を処分して新しい住宅を求められるよう努力して下さい。皆さんが望んでいます。	ノート
208	双葉町に帰りたい	双葉町に帰りたい	ノート
209	不安	先祖代々の土地で培われてきた生活を分断され、知らない土地で知らない人々と生活する生活も一年以上となり、一日も早く双葉町に帰りたいという思いは全員が持っていると思う。復興に向かって行く速度が遅く、行政の考えが見えないことに対する不安ももっている。このような生活の先に何も無いのではないかと。自分の家庭は自分達でやらなければならないのか。それにしても何もかも失くしてしまったのに！	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
220	双葉町の今後	テレビのニュースでは、どの町でも役場を人口が多く住んでいる町に、役場を新設し、住民の声を聞いて助ける様にとの事だった。また、戻った村では住民の雇用を考えて、会社を受け入れた様です。双葉町はどうなっているのか？除染しなければ何も進まない気がする。除染しても何にもないという人もいますが、やってみなければ分からないと思う。1日も早く戻りたい。	ノート
232	双葉町へ帰れないのか	双葉町は156年帰れないと言う。どういう事でしょう。除染をしてもダメでしょうか。帰れなければその様に、国県町からそれなりの説明があってもいいと思う。そうでなければ私達個人で進む事が出来ません。残念です。	ノート
233	仮設住宅への移動	現在の所から移動します。階段がつかなく足を傷めて仮設に移ります。残り何年世話になるのか、これからさぞ不安でなりません。早くふるさとに帰りたい...	ノート
237	避難終了後について	避難終了後、何を軸に復興するのでしょうか？原子力関連か、放射線研究関連、全く別のもの...何を軸にするか、しっかり決めないと、周りの町に先を越されてしまいます。すでに、復興本社はJビレッジとのこと。方向性を決める時期かと思えます。放射能の博物館など作るのもありかと思えます。とにかく、どうにかして、仕事、雇用、そして町としての存在感を出さねば。	ノート
239	3/11から1年9ヶ月	3月11日からもう1年9ヶ月、まだ何も見えていない様な気がします。これからの町づくりといってもどうなのでしょう。（双葉町の町長、何してるんだって声大きいですよ）各市町村から、外されたりしないんでしょうか？自分は山田〇〇、強いですよ放射能。帰れないでしょう。自分はもう開き直りあきらめています。仮の町づくりの考えがあるのであれば、町をハッキリさせて、いわきにある国有地でも何でも早くしないと、いま仮設にいる人達が可哀相な気がします。あと何年、今の生活していけばいいんでしょうか？	ノート
240	町づくりといっても	仮設で、仕事も無く、これから先は長いと思えますよ。今までは、移動や引越やらで来たけど、これからの3年、5年は長いです。早くハッキリしてほしいです。とりあえず、双葉町をどうするか。いそいで結論を出してほしいです。結論出ないうちは、町づくりも、なんとも。	ノート
241	マイノートについて	H24.9.30（日）町づくりマイノートが届きました。年寄でホームページも携帯も分かりませんが早く町が元通りになって双葉町に帰りたいです。それには余りにも年をとり過ぎて、これからどんな生活になるのだろうと不安です。でも若い人と今まで同居してましたから、若い家族ががんばってくれると良いと考えています。	ノート
242	生活支援の方と話して	9月中旬に、双葉町の生活支援の方が来て下さった時はとても町に戻った様な気持ちになって、お話できました。町の人皆戻りたい気持ちは一緒だと思いました。	ノート
272	仮の町に必要なもの	仮の町には、ショッピングモールがあるといい。人も集まる。生活にも便利。雇用も生まれる。ただし、双葉単独では不可能。郡内他町との協力が必須。	ノート
273	居住する地	地域再編によって町民が不利益を被らないようにして欲しい。津波被害の地域がなぜか線量は低いが、帰って住めるはずがない。	ノート
276	双葉町のいいね	役場、福祉の皆様には何かとお世話になっております。ありがとうございます。人情、思いやり、以前の双葉町が良かったです。出来ることなら、双葉町に帰れたらこんないいことはないと思います。町長さん始め、皆様方が復興をめざし、働いてくださっていることに感謝しています。よろしくお願い致します。感謝	ノート
278	双葉町での暮らし	私は〇〇才。昭和〇〇年の〇月に小学校に入学、昭和20年8月15日終戦、その頃は物がなかった時代でした。でも自然の物がありました。山にはクリ、フキ、キノコ、ワラビ等など畑には季節の野菜が有り、田んぼには米など、家もありました。平成23年3月11日以降上記のすべてがだめになり、ふるさとを思い出します。今のくらしは、旧騎西高校にて一日一日を過ごしています。自立したい気持ちがありますが、なにぶん福祉の皆様にお世話になっている身、これからのくらしを思うと気持ちが重くなります。でもご安心下さいませ。それは笑うことです。最後に双葉町がひとつになることを希望いたします。	ノート
286	双葉町から離れるのを防ぐ方法はないのか一町民でいる事の優位性があれば	双葉町として、国や東電に貸して、他に移すまで町民にお金を配分して、町民が双葉町から離れるのを防ぐ方法はないのか？ある程度のお金が永続的に入らないなら、賠償が終わったら若い世代やその子供達はよその地へと移る可能性が高いと思う。町民でいることの優位性があれば？	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
291	若い世代のために	若い世代のために行政や国、東京電力に対して早急に明るい未来を築ける青写真を見出してほしい。	ノート
292	もう二度とふるさとに戻れない	もう二度とふるさとには戻れないのだ！！東電がにくい人生が二度あれば 井上陽水の心境です。	ノート
298	歳十年の欲	今年75歳 それにこれから5年後双葉町へもどるとしたら 76+5=81歳 「われ故郷に生きて帰るぞ」 毎朝5時30分に起床 約2k~3km歩く。目標あれば足どり軽い	ノート
305	孫の言葉	孫から電話「爺ちゃん元気か」避難している孫の話 小さいなりにふるさと「双葉町」を思っている言葉 「避難が終わったら俺は双葉町へ戻り、俺は双葉で働いて生きる」 この孫等が戻らなければ双葉は終わりだと思った。	ノート
314	飯館村 9/2TV. 避難区域解除合意至らず	いろいろと考えれば、わが双葉町も飯館村より原発に近い。 6年過ぎても戻って生活できないのではと、そんな事も考えられる。 除染をして戻れるかが問題だ。	ノート
315	避難して3年後借上げ住宅は	避難して3年後。仮設住宅、借上げ住宅は3年まで。今後5年間戻らずの話 を聞く。この3年以後の住宅の問題、これからも延長して住めるのか。 双葉町がいわき市に役場移転。町民はいわき市へ移動。「仮の町」町民の 住まい。 我が家には戻れず家族はバラバラ。 借上げ住宅や仮設に住めなくなった。 避難先で自分の家を持つようになったら、双葉町民も戻る人は少なくなっ てくる。3年後も借上げ延長をしてほしい。 一日も早く除染を、除染をしてもダメなら戻る事もあきらめる。 今の子供達が県外で学校を卒業し県外に就職すれば、若い人達は戻らな い。全損賠償になれば土地や農地を見捨てて住まいを郡外、県外に移住 する様になる。双葉町も草木の生え茂ったその中に住む事は出来ない。 戻らない人の屋敷、田畑は草ぼうぼうで、誰も他人のものの草を刈る人 はいない。それがこわい。20戸の部落が5戸、7戸と移住すればその部落 は自然に廃家が増えて住む人が居なくなるのでは… 今は戻りたい、帰りたいとの気持ちは5年も避難していれば薄らいでく る。私はそれがこわい。 安心して住めなければ必ずこうなる。1戸2戸頑張っても自分の財産の田 畑だけでいっぱいいなのに他人の住んでいない人達の財産までは 手が廻らない。水路の草刈り、堀上げなどやれないと思う。地主不在が こわい。	ノート
319	詩	幾年 故郷 戻って見れば 咲く花 鳴く鳥 いまいない 門辺の小川も 流れなく なれにし 昔の姿なく 荒れたる 我家に 住む人 帰ない あの荒れ放題の故郷の姿 燕や雀の姿なく 伸びた雑草 黄色 花 田圃も畑も 区別なく 昔の姿に 誰れ戻す 見捨る 戻らない 帰った処で 線量高く 米も野菜も 作れない 刈りたる 雑草も置場なく 晴れて戻るは 日はいつか 帰るは いつになる ふるさと 戻りたい 故郷の廃家	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
320	孫達の事、考える	<p>遠く新潟に避難した孫達 避難して高校と中学校に進学 見なれぬ地に生きる 双葉におれば太陽は東の太平洋から昇り、西の山陰に沈む。 新潟は違う。飯豊山の山頂から昇り、日本海の海に沈むという。 双葉とは逆だ。 高校卒業後、新潟に就職すれば新潟の人になってしまうという。 双葉町にある家や田畑や山林はどうなるという。 小さな子供でさえも、自分の生まれ育った地を思っている。本人も早く 双葉に戻りたいと言う。 卒業したら福島に戻りたいと言う。 できれば「双葉町」へ戻って就職し生きたいと考えている。 離れて生活すれば誰でも考える 「故郷は遠きにありて思うもの」 ・夏は太平洋の浜風で涼しく ・冬は雪が降っても1日か2日程度 新潟は冬は降る様になれば毎日除雪で歩道は歩けない。 （双葉は夜降っても、翌日の夕方になくなる） 夏の浜風はあついし、涼しくない。冬は寒い北風が吹く。</p>	ノート
322	避難して1年半	<p>これから5年も避難生活を続けられて行けるのか！ 毎朝起きてすぐ、朝の散歩をする。約2km歩く。 目的があって働いている時は楽しみもあり疲れもさほど感じなかった。 働きの中にも夢もあった。 健康維持のために歩く一歩二歩と、いつになっても避難民だと思ってい る。 やはり双葉に戻って伸び伸びと生活をしたい。人間対人間はどこでも同 じかも知れないが、誰にも気を遣う事なく生活できる所がある。 ああ、帰りたい、戻りたい、我が故郷に</p>	ノート
323	近頃思う	<p>「浪江、大熊、富岡、三町は5年は戻らない」という。 5年戻れなかったら、現在の子供達の中学生、高校生は地元双葉には戻 らず、他の地方に就職して自立し、もう戻る事はしないと考える。双葉 郡の工業団地等に企業はもはや戻らないだろう。農業の再開もムリ。 帰っても生活して行けない。全ての人達はみんなそう思っている。 あの草ぼうぼうの田畑、宅地を思うと戻る、帰る気持ちが薄らぐ。 若い人達の居ない地域は振興しても長く続かない。年寄りだけでは振興 は出来ない。 農業・商業・工業も、一緒に再開しなければ生きて行けない。今の中、 高校の生徒は不幸な時代だ。</p>	ノート
327	郡山市駅前広場と於いての芸能まつりにて（双葉町郡山地区の人達との旅館宿の中で）	<p>（これから5年後双葉町へ戻れるのか。そんな事の話をした） 現在、除染もしてないのに戻る事は不可能だとの言葉。 やはり一度、除染をして人が住めるのか試してみなくては… 5年過ぎれば、双葉の住民は3割も戻らないだろう。 老年の人々はなくなり、若い人達は安全を求めて、他の地へ就職して住 む様になり、帰る事も忘れてくる。 中間貯蔵施設が出来れば、その様な状況がもっと増すだろう。 この世に安全、字はあっても絶対安全、安心などない。</p>	ノート
331	われ双葉町に戻れるのか	<p>避難して二度目の冬を迎える。 明日の見えない日々、1日1日過ぎ行くのは速い。 我、いつの日双葉へ戻れるのか、夢も希望もない毎日 戻れないのなら、双葉町を離れて、どこかに住む事も考えなくては 孫達の人生もあり故郷のない人生、そんな事はさせたくない。 どこへ住んだら良いか、いろいろ悩む。戻れるのか 戻れないのか 戻っても生活できるのか 中間貯蔵施設が出来て住む事が出来ないのか やはり一度除染してみなくては。そんな事を考える。双葉へ戻れるなら 生きて戻りたい。</p>	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
333	6巡りの帰宅	<p>あの荒れ果てた家屋敷、田畑の姿。本当に元の姿に戻せるのか。近頃そんな事を考える。</p> <p>あのセイタカアワダチ草、2m近く伸びている。あの繁茂ぶり、これから2年、3年、4年が過ぎたならどうなる。双葉の地へ戻ろうと思う考えも変わってくると思う。</p> <p>双葉の地へ戻る人もこれから1年で1割減、2年で2割減、4年過ぎれば4割減、6年過ぎれば6割以上が戻らないだろう。7,000の人口の「双葉町」も6年後戻る人も3,000人弱では、「双葉村」になってしまう。</p> <p>いかに一年でも早く戻れる様にしなくては、と考える。除染を急がなくてはならない。早くやらないと戻る人が居なくなる。</p>	ノート
344	同級会にて	<p>先日檜葉町〇〇の同級生に逢う。今、檜葉町は除染をやっていると言う。</p> <p>川内村の同級生にも逢う。川内村も除染をやっていると言う。</p> <p>わが双葉町はどうなる。いつ頃戻れる様になるのか先が見えない。</p> <p>荒れ果てたあの農地、5年6年後は山となるだろう。そうなったら誰も帰らない。米も野菜も作れない農地。</p> <p>年寄り死亡、子供達は戻らない。先々に町はなくなる。</p> <p>今の子供達も県外や県内の他町に就職して戻らないだろう。</p> <p>早く帰れる、戻れる希望をもたなくては。</p>	ノート
347	避難前の姿に誰が戻す	<p>一時立入りの度に荒れ果てて行くわが家や農地。あの始末は大変だ。</p> <p>元の姿に戻すには…と考える。</p> <p>あの地にやがて戻って以前の生活は無理かな.と思う。</p> <p>国も除染除染と言ってるけれども、避難した住民もいつの間にか半分帰還をあきらめの感じ。</p> <p>あの荒地を元の姿に戻せる元気、いや、力があるのか。</p> <p>避難生活が長くなれば長くなる程戻る気持ち（心）が薄くなる。戦時中の開拓精神がなければ元の姿は無理。</p> <p>田や畑も3年たてば木が生え5年過ぎれば太くなり、昔の農地には戻せない。そんな感じがする。</p> <p>7年とは人生の1割だ。わかるか。</p>	ノート
353	二度とこの家に住むことはないんだ	<p>悪夢のような出来事から二度目の冬を迎えました。</p> <p>先日一時帰宅しましたが、ボツンと家が淋しそうに立っていました。</p> <p>誰も住まなくなった、住めなくなった家、もう二度とこの家に住むことはないんだとしみじみ思いました。</p> <p>双葉に帰りたい！</p>	ノート
359	一時帰宅するたびに	<p>一時帰宅するたびに、荒れ果てて行く町の姿を見るとせつなくなりま</p> <p>す。ゴーストタウン化した町の中は荒れ放題。田畑と畦道まで雑草が生い茂り、地震でこわれた建物はあのまま…。あの町の姿をみたらもう…半分あきらめの気持ちが。</p> <p>あの状態で何年か先には、本当に帰ることが出来るのでしょうか…。</p> <p>“帰れない”のであればハッキリ“帰れません！”と言ってもらった方が、その方が先を見ることが出来ます…。</p>	ノート
366	暮らし	<p>これから先何年帰れないのか不安。仮の町はどこに出来るのか不安。</p> <p>行政、国が土地を解するのか。用地地域の改正をすることが大切ではないのか。</p> <p>今後、双葉町の進む道。何年までに町に帰ることが出来るのか。財物の補償・賠償が真に遅い。その他多種有り。以上。</p>	ノート
367	双葉には戻れない	<p>先日一時立ち入りをしてまいりました。1時間半程度の滞在時間、(室内1時間屋外30分)2人での立ち入りでしたが、それぞれ3マイクロシーベルト、4マイクロシーベルトでした。地区は下条。年間量にすれば、20ミリシーベルトを若干超える程度でしょうか。汚染されていない土地で年間1ミリシーベルトであるとすれば、20ミリはやはり高いと思う。“双葉町からのお知らせNo.400”の木村真三先生の講演記事を読みました。線量のばらつきが大きいので住めないのではないかとのご意見でした。被災した原子炉をかかえる発電所から3kmという場所は、今後廃炉に向けての作業の中で仮に事故が発生した場合、その時双葉に帰還していたら、再度避難を強要されるはず。除染は山田石熊等、山間部の汚染が高いことを思えば町の中を処理できても川を介して再度汚染が進みそうで効果は疑問ではと感じます。以上のことから個人的には双葉には戻れないと思う。</p>	ノート
368	住めば都	<p>仮に帰還できるとしてもそれは直近のことではない以上、町民は生活のため仕事をし、かつ子供は就学する必要から自然にその地に同化することになると思う。住めば都。10年もすれば子供たちは独立し、代替わりも徐々に進行し、双葉に帰還する必然性は薄らぐ。</p>	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
370	帰還の危険性	国は避難指示解除地域を徐々に増やし帰還の促進、賠償の打ち切りをすすめるであろうし、町の仮の町構想も帰還が前提だと思う。仮に除染が順調に進み避難指示が解除されるとして、それが何年後なのか。その後のインフラ修理にどれだけの期間が必要なのか。それを思いつつ自分の年齢(50代後半)を勘案すると、戻れないだろうとも思う。仮に避難が解除されるステージに達したとしても、震災前の双葉より放射能汚染は高濃度であろうことでしょう。そこに50歳代の私が戻るならまだしも、幼児や小学生を帰還させる行為は、国の認めたことだし、判断も別れるだろうし、それぞれの家族の事情だろうけど、双葉町民を危険にさらす行為に私には思える。	ノート
372	帰還の可能性	除染などを行っても帰還の見通しはいまだ見えない現状、たとえ帰還できても町内中心部の放射能濃度はそれなりに高そうであること、中間貯蔵施設造成の要望があること、双葉が本当にきれいな空気の状態になるのには何世代か必要になりそうだと個人的には思うこと、とすればその時双葉に戻るべき故郷とする人々はもう存在しない。	ノート
377	双葉の復興は望まない	双葉町の復興など望んでいない。時間が経つにつれ、また、井戸川町長が様々な会議を欠席するたびに、この思いが強くなっていく。双葉町全体を国に買ってほしい、国営化し、中間貯蔵施設や除染した廃棄物の置場にしようなど、双葉町周辺の市町村(双葉郡)の復興や福島県全体の復興の役立ててもらった方がいいと思う。	ノート
378	戻る気はない	自分たちも双葉町に家を新築し、1ヵ月しか経ってないので、夢や希望などを残してきているが、今回の件でつらい思いもしている。小さな子どもも居るので申し訳ないが双葉町に戻る気はない。早く賠償が進み、次の生活に移りたい。それだけです。	ノート
380	前進したい	過ぎていく時間は戻ってこないの、早く前に進みたい。それだけです。	ノート
381	帰りたい	私は腰が悪いので天気の良い日は朝9時頃から押し車で散歩しています。若い人たちは勤めているので、自分でできることはボケ防止にもなるので頑張っています。早く双葉町に帰りたいなと毎日思っています。	ノート
387	双葉に帰りたい	今日は主人の兄の戦死した命日です。双葉から位牌と亡くなった人の写真を持ってきたので床の間に飾ってあります。手を合わせて拝みました。今日散歩しないかなーと思う時あります。でも年を取ると足から弱くなるので頑張って歩いています。早く双葉に帰りたいです。	ノート
388	双葉に帰りたい	散歩に出かける。途中、何度も逢ってるおばあさん2人といろいろお話しして楽しい一時を過ごしました。足腰を丈夫にして双葉に帰りたいです。	ノート
389	双葉に帰りたい	午後はキーボードなどを弾いて頭の体操です。30分位ナツメロなど弾いて楽しめました。家族で双葉の家の歌など出るとあーあ早く帰りたいなど、行ったらあそここうして草とつととか話はずきません。	ノート
392	双葉町に帰りたい	今度一時帰宅あって家に行ってみたら、どんな風かなと。屋敷廻りは草が伸び放題。元通りの家にしたいが、なかなか思い通りになりません。早く双葉町に帰りたいです。	ノート
393	双葉に帰りたい	東京に避難している同じ行政区の方が東京巣鴨に行ったのでおみやげに赤いショーツ2枚、下着、スポン下など体に良いものを送っていただきました。体を丈夫にして早く双葉に戻りたいです。	ノート
395	双葉に帰りたい	キーボードなどを弾いてボケ防止予防にと頑張っています。早く双葉に帰りたいと心から離れません。	ノート
396	元の生活に戻りたい	今朝も風が強かったが何とか散歩してきました。途中畑の手入れをしていた方に逢って、お話ししたり、草むしりを手伝ったりして楽しい一時を過ごしてきました。午後風が強いので家の中で雑仕事をしていました。早く元の生活に戻りたいと心に言い聞かせ、頑張っています。	ノート
399	役場アンケート調査	早く双葉に帰りたいなと思います。双葉役場アンケート調査票がきたので記入したりしました。	ノート
400	帰りたい	郡山に避難している友達がTelをくれて色々とお話をする。早く双葉に帰りたい。でも友達の家は津波で流されて家がないので、どうお話ししたらよいかわからなくて困りました。	ノート
401	避難生活	午後は隣に行きヨーグルトを取りに行く。毎週木曜日に配達されるので、毎日1ヶずつ食べています。1ヶ分で1日の鉄分が入っているそうです。体をしっかりさせて早く双葉に帰りたいです。	ノート
403	戻りたい	昨日、南台に期日前投票をしてきてお友達の家に来たら、今日Telがありうれしくなつかしいと言ひ、喜ばれました。そして体に気を付けて早く双葉に帰って、元の生活に戻りたいなとお話しました。大正琴の仲間の方です。	ノート
405	避難生活	1日も早く復興できるよう、みなさんは首を長くして待っています。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
406	選挙	今朝は昨日選挙の結果、どこのテレビ局も発表でした。元議員など落選した事など。新人議員など。自民党など公明党と連携して2/3以上になるなど。新しい人選で1日でも早く復興していただきたいです。	ノート
407	町づくりを願う	町長さん、役場の皆様、お疲れ様です。早いものでこちらへ移ってから1年9ヶ月過ぎました。隣近所の目もあるので、出かけるのにも気を使って生活しています。福山市には子供達が住んでいるので時々孫達に会って元気を貰っています。私達夫婦は幸せです。テレビで福島県原発のニュースが写ると胸が痛みます。6月に一時帰宅し周りの様子、家の中の様子を見て涙が出ました。私達は遠くから双葉町の一日も早く町づくりが出来ることを願っています。	ノート
415	慣れたくない	便利な生活に慣れて行く自分が嫌で、ふるさとに帰ることを考えている。	ノート
416	地元	地元に戻って生活を立て直したい。	ノート
423	疑問_町はこうあるべきと決めることについて	私の考えは正直言って地元に戻りたいです。しかし、双葉町に戻ることには不可能に近いと覚悟しています。何年先に地元に戻って生活できるのか、除染しても地元に戻って生活できるようになるまでは途方もない年月が必要であることを考えた時、はたして今の若い人達がそれを望んでいるのか、やがて福島出身というだけで結婚など差別されるのではないだろうか等、不安材料があるわけで、果たして若い人達のために、町はこうあるべきと勝手に進めることが良策なのか、疑問に思います。	ノート
426	不幸_生活の基盤が定まらないこと	自分の生まれた故郷がなくなってしまうという事はこの上もなく辛く悲しいけども、あれから2年も経とうとしているのにまったく先が見えず、生活の基盤が定まらず、右往左往している事の方が不幸であると思います。	ノート
427	子供のために、双葉の地に帰ることは...	幼い子供達や、これから生まれてくる子供達がやがて双葉の地に自信を持って喜んで帰省するだろうか。私にはわかりません。	ノート
428	現実的に	やがて過去の歴史として振り返った時に人々は何を思うのか、それぞれです。現実的に考えた時、立ち止まっても先は見えてこないし、いつまでも立ち往生してはいられないのです。	ノート
429	追われる日々	町民のみなさんはどんな考えをお持ちなのでしょう。突然奪われた平和な生活に思いを寄せながらも毎日の生活に追われています。季節が巡って来ると、ふるさとの風景が浮かび涙が流れます。原点に戻りたい思いは誰でも同じです。	ノート
434	他町村との交流も視野にいたれた復興まちづくり	双葉町だけの復興まちづくりは可能なのでしょうか。仮設住宅の状況をみても、他町村の人達との往来もあるようですし、双葉町だけということにこだわらず、近隣の人達との交流も視野に入れた町づくりを考えて、新しいコミュニティづくりに視点を移しても良いのではと思います。	ノート
435	復興まちづくりは、町単位がよいのか？	近隣町村との交流によって今までも成り立って来た事を考えれば、町単位ではなく、双葉郡単位での新しい町づくりを視野に入れて進めていってほしいと考えます。その方が遠く離れた地で生活している者にとって入りやすいように思います。限定された土地に単独で町が移ってしまうと長く双葉を離れて生活していた者にとって違和感があります。	ノート
437	生活の基盤をまず構成	緑豊かな双葉の山河をやがての子供達に残すことが不可能に近いのであれば、一日でも早く落ち着いて生活が出来る基盤を構成してやるのが大事かと思えます。	ノート
440	町の将来性	いわゆる「除染」と町民の将来について。国の「除染」するからいずれ元の場所へ帰らせてやるという方針は住民の生活を無視しています。子供等若い世代が戻らなければ町が成り立たないからです。このような町の将来を描けない状況に陥れた東電と国に要求していただきたいことは、「それぞれの町民の選択を保障」して欲しいということです。	ノート
446	夢の町	ロボットが人間の役目をやってしまう時代が来てる。夢であるなら見ただけみてみんなが出し合える夢でこの町を作っておいて良かった!!となれる日が楽しみ。	ノート
466	強く前に進む	色々考えること言いたいことはいっぱいありますが先を見て現実的に考えて、前に進むしかないと考えます。町長、議員は進む方向を束ねて示してやって欲しい。賠償優先して自活の道を支持して欲しい。自分は生まれ育った場所は愛着もあり振り向き考える自分もいます。でも人を頼り何かばかりあてにしては前に進みません。先祖には申し訳なく思いますが、結果を踏まえて力強く前に進むしかないかと判断して前に進みたいと思えます。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
467	皆が忘れないうちに	何でも頼りたい、相談したいことはいっぱいありますが、自分でやることは自分自身で考えて前に進みたいと思います。これからの若い者の為にも早く一日も早く目標を見つけられるように方向と賠償を進めていただきたい。1日1日が過ぎていくことが一番心配です。皆が忘れないうちに。夫婦2人で何かを頑張っていきます。	ノート
475	前にすすまない、決められない	自立したいけど賠償が長引き前に進めない。決められない。何年先になるかわからないけどもう帰れないのでは？	ノート
516	ポジティブに	“町のいいね”をあげればあげる程、くやしい思い(ネガティブ)がする気持ちになる。ここは、新しい生活環境下で自分なりにポジティブな思考で近未来を描き、生活して行く方が得だと思う。	ノート
518	どこに住むか	双葉町には帰れないと思っています。どこに住むか早く決めて落ち着いて暮らしたい。そのためには、財物の補償が必要です。他の町村と話し合いし、足並み揃えて進んでほしいです。	ノート
523	双葉	役場の本来が、福島県に移動する事に対して、善し悪しは別にして、他の8ヶ町村と協力しながら一日も早い復興をお願いしたいと思うが、一時立入の度に感じるのもう、双葉町に住む事が出来ないのか、そんな気持ちが強く感じられてしまう。	ノート
534	帰れるか、帰れるかを明確に	今後50年、いや、100年か？双葉町には帰れないのではないかと。ならば、帰れないという考えのもとに、今後の双葉町の進む道を考えさせて頂きたい。	ノート
537	安心して戻れる故郷でなければならない	子供や孫が安心して戻れる故郷でなければならないと思います。双葉には帰りたとは思わない。	ノート
539	帰還時期の宣言をしてほしい	浪江町、大熊町は5年は帰れないと宣言しているけど双葉町も早く宣言を出して欲しい。	ノート
560	仮の町	将来的には除染が進んで10年くらいで双葉に戻れるのであれば戻りたい気持ちはありますが、若い人達の事を考えると自分達ばかり戻ってもどうしようもありません。20年～30年以上かかればもう無理でしょう。仮の町については、震災以前のような近所づきあいができるかどうかもわかりませんので、今はどうしたらいいのか、答えが見つからない状況です。ただ、仮設住宅に住んでいる方には一日も早く安心して住む事のできる仮の町が必要ではないかと思っています。	ノート
621	どうすれば良いのか	原発が収束せず放射能の懸念のある限り、町も今後に向かってしっかりとした指針が示せないと思う。だから町民は路頭に迷うのだ。専門の大学の教授などの話を聞くと双葉町民は健康を第一に考えれば戻らない方が賢明でないか？と言う。しかし、私達はこよなく双葉町を愛している。戻りたい！戻れない！町民はどうすれば良いのだ！！	ノート
628	帰町について	前述していますが、我が故郷、双葉町は山紫水明、白砂青松の太平洋岸にあり古来より永年にわたり暮らしてきた土地でもあり、また先祖の墓、魂が眠る故郷でもあります。一刻も早く戻りたいのは誰しもが望む想いではないでしょうか・・・しかし現実はどうでしょうか？野田総理が就任の第一声で福島の復興なくして日本の復興はない。そして昨年末には福島第一原発の収束宣言をしましたが、事実は果してそんな甘いものではない。まだまだ危険な域を脱していないはず。その間近にある双葉町はどうして町民が数年後に戻ることが出来ますか？今から10年？いや数十年戻れないかも知れません。全く不安でいっぱいです。	ノート
631	我が故郷	相双地区以外の全国各地では高速道路網は張り巡らされ新幹線も走っている。経済的にも恵まれている。何で我々ばかりがこうなんだ！！格差、不公平、不平等ではないか！！歴史も伝統も生活基盤も全たく破壊されてしまった。国も県も早急な対策を建てて頂きたい！！早く、早く、帰りたい！！よその地で死にたくない！！現在私は81才、妻は76才、もうあとがない！！	ノート
637	現実	大切にしてきた家だから、戻れるものなら戻りたい！帰れるものなら、帰りたい！しかし、現実とは違っています。原発は収束していないし、またいつ何時、何が起きるかわからずとても恐ろしいことです。線量も高く、孫を遊びに来させることも出来ません。私達の終の住処と思っていたのですが、もう住むのは無理だと思っています。	ノート
638	今後	原発がきっちり収束し、町のインフラが整備されるにはどの位の年月がかかるでしょうか。私達夫婦には時間がありません。一日も早く、終の棲家を探さねばなりません。	ノート
648	今後の見通し	早く知りたい。それによつては対応が違うし今のままでは何も出来ない。 →居住区分の見直しで大熊町は5年戻らない事を国、県と協議しました。 →双葉町は町長がその席に立とうとせず逃げまわっている。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
649	双葉町に戻るかについて	まず、区域割りをはっきりしないとだめだが、5年以上ともなれば戻れないと思っている。家も壊れるし、インフラ整備にも多大の時間とお金がかかる。	ノート
667	今より少し幸せになる五つの条件	双葉町、町民達で仲良く頑張ろうね。今より少し幸せになります・・・ 1. 人を責めない 2. 自分も責めない 3. ぐちを言わない 4. 過去を振り返らない 5. 健康でいつもにここに	ノート
733	双葉町について	・双葉町へ帰れる見込みは本当にあるのか？ ・双葉町へ戻るとしても、となりの大熊町がどの程度避難解除されるのかも分からないため、現段階ではとても不安に思われる。 ・やはり双葉郡内全てが避難解除されないと今後生活して行くうえで、問題が出てくると思う。 ・双葉町は特に大きなスーパーも無く、となり町などで買い物をする人も多かったと思われる為、1つの町のみが解除されても意味が無いように思う。	ノート
747	要望	五年間帰宅困難であることは町民はみな十分に理解しているので、双葉郡の町村と共に行動してほしい。	ノート
748	新しい認識	双葉町を、元の町にもどしたいと思っても、不可能だと思う。認識を新たにしなければと思うようになった。	ノート
761	今思う事	双葉町復興のため色々とお世話になっております。マイノートに記入・・・何をどの様に細かく書くのか説明もつけていただき、たいへん手間をかけて作っていただいていること感謝いたします。しかし、現状の私には何と書いて良いのか？先の見通しのつかない毎日、一時帰宅のたびに荒れていく我が家、そして双葉町・・・双葉郡・・・無理だとわかっていることでも原発事故前に戻れたら・・・ただそれだけの思い・・・地震だけであつたら・・・津波にあつてしまった方々には、申し訳ないですが、我が家は原発事故さえなければ・・・地震だけならば、今日も双葉で暮らすことができていました。双葉の人々と一緒におられました・・・。現実として前を向き町を復興、そして帰るということに協力しなければと思いつつも何をどうしたら良いのか？何を書いたらいいのか？ただ「帰りたい！！」それだけです。上手く書けず申し訳ありません。	ノート
767	町への協力	私は双葉町に住んで26年、少しでも町民として役に立ちたいと思いいろんな事に協力してきました。毎月、1日と15日には町広報車で交通安全の呼びかけをした。死亡事故ゼロを呼びかけ、今でも記録は続いている。幼稚園や保育園に着ぐるみを使った交通安全教室もやってきた。交通安全の呼びかけの時に使った事故防止の帽子も手作りしていた。暗い時に道路を歩くと危ないからと反射材を配りながらの呼びかけなど頑張ってきましたが町がバラバラになってしまつて何もできなくなつてしまつた。何もできない事がもどかしいです。	ノート
776	要望	ライフラインが整備されあたたかいコミュニケーションのとれる町を望みます。まだ何も決まっていませんので復興など考えられません。	ノート
781	要望	・高速道路の無料化の延長 ・健康保険の無料化の延長 ・早く双葉に帰りたくです。	ノート
782	復興会議に参加して	双葉町町民参加の「7000人の復興会議」の集りがPM新宿駅の新宿パークホテルの2階で開かれた。参加人数は少なくて少しがっかりした。双葉町の人にはもっと参加してほしい。今回参加した人は5人でさびしかった。私は今回で3回目、来週での全体会議で4回。希望としてはふるさとの双葉町にはもう帰ることはできないとは思わないであきらめてはいない。役場が来年3月に福島県のいわき市に移るとのこと。やがては私も仕事上いわきに移住するつもりだ。	ノート
820	望む事	91才になる母親に「山田に帰っぺな」と話すと深くうなづくその姿、一日も早く帰って母を見送つてと思つたのに、あとは何もありません。	ノート
824	双葉町に戻るのか	双葉町に戻るのか戻れないのかどうなるのか、残念です。	ノート
826	祈念	年中、毎日々不安ばかり 町の再復興祈念するばかり	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
831	賠償説明会にて	避難区域見直しと賠償の説明会に同級生と参加しました。知っている顔もチラホラあって安心しました。それにしても、線量の高い地域に囲まれている双葉の区域再編を考えるなんて・・・。確かに帰りたい町民もいるでしょうし、私だってこんな不安を抱えているくらいなら、今すぐ帰りたいと思います。でも現実的に考えたら無理だし、帰る町民も高齢者が多いでしょうね。それに帰りたいのは元の双葉町です。汚染されていない、家もカビだらけで傷んでいない、水道水も安心して飲める双葉町です。何人かの町民が激しく、時には涙しながら発言していましたが、私も同級生も恥ずかしがり屋で？一言も発言できませんでした。同じように意見があっても発言しなかった方もいたと思います。こういう時、参加者一人一人にマイクを回して二言、三言でも発言する機会を与えるというのはどうでしょうか？	ノート
840	要望	将来的には、双葉郡を統合して、仮の町、復興について考えるべきだと思います。きれい事では前には進めない。そう思います。文句を言う嫌な人だと捉えず、真剣に考えて欲しいです。	ノート
854	いつ帰れるのか	双葉町は、本当に帰ることができるのか。家の廻りを除染しても何年も帰ってないの以前の生活は無理だと思う。	ノート
856	仮の町より戻れるか戻れないか	仮の町より、実際に戻れるか戻れないかを先にはっきりすべきだと思います。仮の町には行きません。	ノート
863	高齢者は待てない	復興が長引くと、高齢者はそんなに待てない。	ノート
876	町村合併	思い切って何町村か合併し、前へ進むしか道はないのではないかと。	ノート
882	意見	双葉町単体での再建は無理ではないか？双葉郡で足並みを揃えた方が前に進めそうな気がする。コミュニティーも双葉町だけではないし、親類縁者は他町村にも多数いる。双葉に戻るといふより、自分の家に戻りたい。賠償が進まないと、新しい生活も考えられない。	ノート
883	代筆	ご苦労様です。白紙で申し分ございませぬ。本人（〇〇）は、手の震えがあり、ペンを取るのを嫌がりまして、難しい事は分からないからと申します。「1日も早く戻りたい！」という気持ちは、変わりないです。母も私達身内も、やりきれない心情を文章にするのは空しい気がいたしますので悪しからず・・・。	ノート
914	提案まず第一	双葉に戻れる年月は何年くらいか	ノート
927	切望	空いたページがありましたので書きたいことを書いてみたいと思います。まず昨年3月11日の大震災以来、6回目の一時帰宅をさせていただきました。何回帰っても、自分の住んでいた町は良いものです。道中はもとより道路の両側はセイダカアワダチ草で、震災前のあの自然の美しさは失われ、荒野と化し、変わったのは、汚れた、人も住んでいないふる里でした。一体いつになったら帰れるのか、こんなに大変な思いをして生活しているのに国、東京電力 県は何をしているのか、もっと早く、スピードを上げて、復旧、復興に取り組んでもらいたい。今度の選挙で自民党にお願いしました。5区から坂本さん、吉野さんが選ばれましたのでこのお二方には、双葉郡はもとより、いわきの復旧、復興を、何が何でも急ピッチで進めてもらいたいと切望する次第です。	ノート
971	物資について	3. 11から1年9カ月、こんなに長くなるとは思ってもいなかったです。体だけで逃げて来て、何にもなく、町から最初のうちはあったけど、今は、仮設でないとい何にも、もらえないのですか。さびしいです。早く双葉町の人達と過ごしたいです。	ノート
972	笑顔になりたい	今日も買い物に行ったらけれど、誰一人あいさつする人もなく、高齢者にとっては寂しいものです。後何ヶ月・・・いや何年、いるのか早く知りたいです。一日も早く笑顔でいられるように。	ノート
973	皆と過ごしたい	ほんとうに我が故郷は何にもないけど車も少なく、空気もすっきりしていて、環境もいいし、ゆっくりと過ごすはずだったのですが、原発事故のため生活が変わって毎日が嫌な気持ちでいます。何回も言っているように双葉町として皆と過ごしたいです。	ノート
974	我が故郷	今日も朝 目が覚めると故郷の事思い出しまだまだ駄目ですね。人生半分以上過ごした所、でも前向きに考えないと自分の体が弱っていくし、早く双葉町として過ごしたいです。我が故郷の人は気持ちがいいです。	ノート
996	私の心情	新しい町づくりも少しでも幸せを感じられるよう願っている。	ノート
1028	新しい町づくり	若い人や熟年のリーダーに期待し町民一致協力して新しい町づくりに邁進したい。具体性が欲しい、迅速性も望みます。	ノート
1041	町民のつばやき_復興への思い	いつの日かひとつになって明るく前進したい。	ノート
1042	町民のつばやき_福島県民であること	福島県民であること 双葉町民であることは生涯心に刻んで生きて行くのだから	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1050	ひとり暮らし__不安	高齢でもあるので異変が起きたらと頭を横切ることが多い。早く、一応安定した生活がほしいと願っている。	ノート
1063	帰りたくても帰れないだろう	帰りたくても帰れないのが現状だと思う。子供達とその両親が信頼して住める環境を取り戻すことが町の復興の前提だと思う。町ぐるみ集団移転を実施するのが理想だが、町ぐるみ集団移転する広い場所があるかどうか、絆づくり、土地の区分け、役場、学校、病院、下水道の設備、老人ホーム、介護施設など考えただけでも数年はかかる様に思う。折角できて若くは帰れないと思う。子供の教育、仕事面などで。	ノート
1088	帰りたけれど帰れない	双葉町の住宅に一時帰宅で行って見たが、今なら住めるが五年も六年も経てば住む事は出来ないと思う。放射線の高い所にわざわざ家を作る人がいるだろうか？いないと思う。帰りたけれど帰れないのか。どうなる事やら。	ノート
1112	帰還スケジュールを早くだして	いつごろになったら、帰れる様になるのか中間貯蔵があるうちは帰れないのか等。色々難しい問題もあるだろうが早く帰還スケジュールを示してほしい。57才、待てる時間は少ない。目の黒いうちに帰れないなら、考え方も変えなければならない。	ノート
1142	早い決断を！	双葉町は・・・どうなっているのでしょうか。町は何を考えているのでしょうか。まわりの町村は着実に動いているのに・・・双葉町にはもう帰れないとわかってはいます。でも諦め切れない自分がいるのです。中間貯蔵施設に関しては、双葉町に作ったとしても止むを得ないと思っています。だって、もう住めないのですから・・・このままでは、復興が遅れるばかりです。早く決断して下さい！早期復興に向けて動いて下さい！	ノート
1155	自分の道は自分で	我々町民は双葉町には戻れないので自分で住む居住地を求めました。自分は自分なりに復興は進んでいるので、これから先も自力で生活再建を実行して行きます。国、東電、県、町に頼っていたら死んでしまいます。レベル7の双葉町に住めるか。	ノート
1184	双葉町について	双葉町を地図からなくさないこと	ノート
1185	意見	原子力行政に頼らない、自然エネルギー。仮の町より実際に戻れる戻れないのが先にはっきりすべき。全て失った、まずは賠償を。住民票を移してその場所に住む。元の双葉町なら帰りたけれど仮の町なら帰らないよ。	ノート
1211	希望すること。	双葉町という名前をなくさないでほしい。	ノート
1233	生まれ育った町	最近、特に生まれ育った町はいいと思う。一人暮らししてた時に、実家に帰った時も安心してゆっくりできた。しかし、今は、家を見ることもあまりできない状態である。写真をとって持っていようと思っても、今では草が生えていてきれいとれない。双葉町に生まれて良かった。もう一度、あの頃に戻してほしい。	ノート
1236	双葉町という名前	双葉町をなくさないでほしい。名前もこれからずっとなくさないでほしい。	ノート
1273	避難生活について。	避難生活は大変だけど、少しでも前向きにがんばって行こうと思う。	ノート
1278	東京電力(株)の賠償の件	避難指示区域、双葉町の解除、期間は他の町が（大熊、浪江、富岡）方針を町民と共に決定し交渉してますが、水面下の話しか聞こえず先が見えない。一部の間では6年は帰らないと決定している町もあるが、双葉町も住民が帰宅し元の生活に戻れるのは何年後かはっきりして欲しい。外国の学者は140年帰宅出来ないとも言っている。妥協しないでがんばって欲しい。	ノート
1280	元の生活に戻して欲しい	復興まちづくりたしかに良い事だと思いますが、なかなか大変な仕事だと思います。ありがたいことだと思います。もう一年九ヶ月すぎました。何の良い方向に向かっているのか全然わかりません。ただただ日暮しに終わってます。私のような老人は何を目的に生きればよいのですか。住みなれた（70余年）土地を去り誰一人として知人もいない土地で生活しなくてはなりません。何も言いたくないですから昔（元）の生活に戻して下さい。ぜいたくはいりません。	ノート
1361	早く帰りた自分の故郷へ	一日だって忘れたことはない。毎日そのことばかり頭に浮かぶ。「柴田トヨ」さんの「くじけない」と言う本も読んだ。でも、双葉、故郷は忘れられずの毎日です。 ※前向きの心には何ひとつ無駄は何もない。苦しみも悲しみも成長の糧となる。（小藪実英先生の言葉です）	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1420	時限的町づくり② ■アンケートに答えたものは	<p>回答の原稿が残っていたので、要点を書き出してみます。</p> <p>①ネーミングが暗い感じです。端的に「ニュータウンを作ろう」「未来都市をつくろう」と浜の人たちに夢を作してほしい。</p> <p>②双葉町だけの問題ではありません。郡が一つになって取り組む課題です。双葉郡の復興ではありません。双葉郡の再生であるべきです。</p> <p>③実態調査にもはっきり示されています。「待てるのは三年」なのです。全国に発信して応援していただくことです。</p> <p>④郡に近い南相馬市・いわき市など土地を分けていただく難問があります。それなら阿武隈山系の国有地を候補地に挙げたらどうでしょうか。</p> <p>⑤水面下での調査・検討材料の収集・関係機関との情報収集は欠かせません。対応すべき問題点の整理です。</p> <p>⑥全て、国の事業として取り組んでいただく提案をしなければなりません。しっかりした要求プランを練り上げることです。このためには早急に専門家集団・アドバイザー等を委嘱して構想をたしかなものに仕立てることで。</p> <p>⑦今後問題となる土地・建物等の賠償問題・中間貯蔵施設の問題等は、町づくりの建設と無縁ではありません。それだけに問題は複雑に絡んでくるから、深い洞察力が求められてきます。</p> <p>⑧双葉郡が一つになれるのか、ここが生死を分けるポイントになる。個々の町の力だけでは国も世間も動きません。世間の応援を得て「世間を味方にする」ことで動き出せるのだと思います。</p>	ノート
1466	復興に向けて	<p>誰もが意見を出せるという事は大事だと思います。出た意見が上の方で取り上げてもらい、検討されれば、そして良い方向に向かえば効果があったと喜ぶでしょう。すべて前に向かって頑張らないとだめかなあと思っています。</p> <p>まだまだ復興は3・11からほとんど変わっていないと思っています。非常に残念でなりません。</p>	ノート
1472	双葉町について	<p>新聞やテレビで聞きますと、双葉町に帰るのは非常に困難だと思います。</p> <p>10年たっても線量は人が住んでも良い条件にはならないと思います。それでしたら、今からでも良いですが国と東京電力が責任をもって外の土地で暮らしていただけるように、努力すべきだと思います。</p>	ノート
1473	双葉町について	<p>だれでも町に帰りたいた気持ちは十分に持っています。でも、現状を見ると、帰れるような気持ちはならないです。もう、双葉町はないものと思ったほうが、正直な気持ちです。</p>	ノート
1484	環境・ふるさと双葉町	<p>とても良い環境だったので、自然が壊されたのがショック！それを戻すのは難しいと思う。壊れるのはあつという間だけど、戻すのはとても大変だし月日がかかる。</p>	ノート
1485	復興に向けて	<p>早く落ち着いた日々を過ごせるように、国、県、町の意見が一緒になり、仮の町なり、計画したことを実行してほしい。</p>	ノート
1486	安全な生活をしたい	<p>放射線のない安全な土地に生活をしたい。避難して1年9ヶ月になりますが、未だ将来がはっきり出来ない。1日も早く、故郷双葉町に帰りたいたいが、永久に帰れないと思っている。</p> <p>また、仮の町については、良い構想だと思いますが、実際には受け入れ体制や場所等の問題で無理ではないか。</p> <p>私は高齢です。先がありません。</p> <p>1日も早く、復興計画を進めてください。</p>	ノート
1499	復興	<p>生活に余裕のある人間ばかりではない。“生きるのがやっと”の人間を基準として復興案を出すべきだ。</p>	ノート
1500	復興	<p>金持ちを基準に復興案を出すのはやめろ！！俺には自分の体以外何も無い。</p>	ノート
1501	双葉町	<p>双葉町に本当に住めるのか、はっきりとした言葉を聞きたい。</p>	ノート
1523	帰還への期間について	<p>双葉町は、今の汚染状況から帰れない期間を国が示すべきである。一番基本となる、帰れない期間(予測)が示されないと、仮の町、町外コミュニティの計画期間が明確にできない。</p>	ノート
1544	復興への思い	<ul style="list-style-type: none"> ・故郷を無くしてはならないと思う ・10年単位で帰れるなら、帰りたいた 	ノート
1555	双葉郡について	<p>双葉郡の町村は、各町人口が少なくなるのは当然である。各町村人口が減るため、各町村では成り立っていかないのではと思う。</p> <p>今まで、県内では、市町村合併が行われてきているのに、双葉郡だけしてきていない。</p> <p>今回の東京電力事故に対しても、双葉郡全体で対応した方が、大きな力になったのでは。</p>	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1556	復興への思い	私は戦中・戦後を生き抜いてきました。2011年3月11日午後2時46分の東日本大震災で大きく人生観が変わりました。人間の意志では、どうすることもできないことや人間は人の善意の支えで生きていくことに対しての感謝の気持ちです。これからも、感謝の気持ちを忘れずに生き抜いていく覚悟です。	ノート
1562	町づくり	双葉町の町民が希望と夢を持って、生活出来る町づくりは大切です。明るい方向に一步踏み出すチャンスです。2011年3月11日から1年9ヶ月以上が経過しています。先の見えない不安や心配がありますが、一步でも明るい方向へ進むべき時期です。双葉町のためにも次世代のためにも、個人の幸福のためにも、衆知を集めて頑張りましょう。	ノート
1565	精神面の管理	心が折れないように細心の注意をしています。人間生きていくには希望と勇気と夢は必要です。 東日本大震災2011年3月11日以来、多くの人たちに支えられて生き抜いてきました。毎日が感謝の日々でありますよう願っています。 志高く高くと冬銀河	ノート
1571	心の復興	物質的、経済的な復興も大切ですが、心の復興が最も大切だと思います。2011年3月11日から。1年9ヶ月が経過しても、先行きの見えない状態ですが、毎日を感謝の日々で送るように工夫しなければいけないと思っています。人間には、希望と勇気と夢が必要です。	ノート
1576	温厚な双葉町民	双葉町の町民は人間的に温厚です。希望と勇気と夢を持っています。明るい方向に一步を踏み出す時期です。 希望とは耐えて耐え抜く春隣 風や青い海にも舟一つ 天空や遠くに光る冬の街	ノート
1657	今後の生活について	私も70才になり人生の先が見えてきています。毎日の孫との会話等、自分の生活の中に早く以前のような自分自身を取り戻したいです。	ノート
1678	復興への思いについて	出来れば双葉へとは思いますが、今となってはもう帰る気はないです。ただ、孫達若い人達の事を思うと、一日でも早くとは思わないし、もう帰る気もないです。	ノート
1719	忘れない双葉町	こよなく愛した双葉町 ふる里追われた避難民 ねぐら求めて今もまた 夢かうつつかまぼろしか こいしいわが里思い出し 涙することいくたびか 鬼おいしあの山も 放射能のいさとなり コブナも目ダカもあの川も 放射能のエサとなり くやしうかなしい物語となりました	ノート
1720	復興	私は高齢者なので良い考えもできませんので、これからの若い人達には大きな夢と希望がいっぱいあると思いますので、これからの（カリ）の双葉町を作るにしても他町村に負けないような、くらしでも良い町が出来ることを願ってやみません。今後はどうぞよろしくおねがい致します。 私はここに書いたことは一生に一度最後の機会だと思いがんばって書きました。判読下さいませ。	ノート
1722	戦争と原発事故を体験	帰れないとは知りつつもやはりいつ帰れるか知りたいです。またずっと帰れなくなるのかな。 私達の青春時は大東亜戦争という悲劇がありまして、アメリカの飛行機がとんでくると私は逃げてとにかく隠れなくてはなりませんでした。 機銃掃射で飛行機から打たれますから。 死場にかかってまた放射能で逃げまとうとは地獄とはこのことだと思います。 あの世に行ったら楽になるかもしりません。 雨降ればあの我里思い出し、風吹けばまた里を思い出します。	ノート
1723	日々の思い	今日よりは明日いとなぐ 道のりを 指折りかぞえ 帰れる日をまつ	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1724	先に進んでほしい	双葉町だけ何も決まっておらず、先のことを考えてくれているのかと思うと心配です。 区域なども決まらなければ、先に進めないような気がしています。 中間施設も地元が引き受けず、どこかがやってくれるなんてないと思っています。 何でも良いから先に進んだと思いたいです。	ノート
1749	双葉町再興	除染作業が全く手つかずで、5年間は帰還しないことで政府と交渉中であることのようにですが、この先5年間も帰らないとすれば町は無くなったものと誰もが考えると思います。 人は絆だけでは生きられないと思います。 地に足が付いた生活をそれぞれが各自で選択するのは当然なことで、仮の町を作るにしてもスピードが全く感じられない現状から双葉町再興への希望が段々遠のいて行きます。	ノート
1787	震災、原発事故から	町民全員参加の復興まちづくり計画策定にあたって、小学生からお年寄りまでの住民の意見を集約して、かつての住み良い双葉町を再興しようと取り組まれている関係当局に深く敬意を示します。今回の東日本大震災にあわせて東京電力福島第一原子力発電所事故で、これまでの明るく楽しい憩いの地を失いました。国のエネルギー政策を信じ、東電の運営管理を信頼して甘んじて来た時代は今夢となって去って終わり、和気藹々の毎日が今は避難生活に一変しましたが、懐かしい皆様にお会いできない日々が辛く感じてなりません。復興を考えても原発地に最も近い距離に位置している双葉町は難題と思うことが第一点です。	ノート
1788	双葉町復興と帰還	復興を考えると、これまでの双葉町が先ず頭に浮かんで来ます。しかし、現在脳裏にあるのは町の広報や新聞等のマスコミによって知る双葉町全域の放射能の数値の一部分で大字または字単位にわたった詳細な数値が分からないことでもあります。従って、双葉町に戻ることが果たして出来るのか、また戻ることができる際何年先になるのか、この辺が一般人に知ることができないところがあって、復興の考え方にならない点があります。国は収束まで30年かかると言っていますので、この30年までの復興をどのように考えれば良いのかなあと判断しています。そうであれば、何処かに双葉町を造ることの声なのかなとも受け止めている現状です。	ノート
1790	現状から考える復興策定の方向性について	町民全員参加の復興まちづくり計画策定に際し、小学生からお年寄りまでの幅広い意見を聴取して樹立しようとする町関係当局の姿勢に対し、深く感銘します。 双葉町の郷土は、元々郡内でも町民のお人柄が人情に富み、最も棲みごこちよい町であるとともに教育文化のまちでもあり、自然に恵まれた環境の優れた町でありました。 この度の原発の事故によって7000人余の住民が避難を余儀なくされ、町を離れることに至ったことは、誠に慙愧に絶えず痛恨の極みです。 現在は、それぞれの避難地で苦しい生活を過ごされ凌いでこられている姿は尊いものと思います。更には、双葉町の復興をすすめるべきではないという気運は一層強いものがあり、難題が立ち塞がっています。 そこで、今、どのように復興を策定していったらよいか、一介の私も人間にはこれといった名案は思い浮かばないのですが、現状をかえりみてその方向性は2つに分けられると考えます。 その1は、避難途上の現状からどう復興していったらよいか その2は、皆町民が一同に帰還し、従来の如く住める未来像をどう描き続けるか この2面があると考えられます。	ノート
1798	復興策定の方向性の2	帰還が何年先になるのかがいまだ明瞭でなく、見通しが明らかになった時点で詳しい復興計画が必要になっていくものと考えられる。	ノート
1799	復興策定の方向性の2	広報やマスコミによれば、町内全域を帰還困難区域としたいとの意向であるとの情報を得ていますが、新たな区域編成を早期に決定する。これを待たずでは、夢を語るに過ぎなくなってしまうのではなからうか。	ノート
1800	復興策定の方向性の2	東電や企業関係には、エネルギー原料のコスト価格を問うているが疑問を感じる。危険な原発は絶対に取り込まないまちづくりを全町民総意で意識改革を図る。	ノート
1801	復興策定の方向性の2	復興にあたって、県や町・関係機関の強力な政治折衝を進める。	ノート
1802	復興策定の方向性の2	中間貯蔵施設が本町に予定されているが、このような場合の意見も変わって行く。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1823	復興	よく「復興」と言うけれど、人それぞれ復興というワードのとらえ方、考え方が違うからモメるのだろう。 優先すべきは何か…それも考えそれぞれ。 私の考える復興は”双葉に今も残される命を守ること。” 動物…のらだって何だって、命だし、今年も季節ごとに咲かせる植物たち…動物や植物たちは放射線なんてことも知らず、双葉で暮らしている。それを考えるだけでも何度泣いたことか。その命を救うために何かできることはないのだろうか。 大切なのはお金なんかじゃなく、命を救うことではないのかなあ。	ノート
1829	双葉町の未来	双葉町、一体どうなってしまうのか。 よくテレビで、「将来ふるさとへ戻りたいか？」の質問が放送されていたが、時間がたつにつれ、あきらめる割合が多くなった。 私は初めから”必ず双葉に帰る”ときめている。 私から何のアクションも起こせないけど、 ”双葉町をまたあの場所で”と考えている人は私一人ではないはず。 ぜひ多くの町民の意見を様々な形で書いてほしい。 日々、人々の気持ちがあきらめに変わっていきつつある今、何か行動を起こしはじめないといけないと思う。双葉出身の友人が、一時帰宅にて土壌と植物のサンプルをとり調べている。何かできないか…と。	ノート
1839	Can we live there again ?	「本当にまた双葉で生活できるの？」 あきらめる人、何とも思わない人、文句言うくせに何もやらない人、色々な人。 でもまたあの場所に戻りたい人だっていることを忘れないでほしいな。 今日も双葉では動植物の命が輝いているから。	ノート
1847	ワタシノミライ	子供のいる職場だからこそ、「未来」について聞いたり教える時間が多い。普段は嬉しいことだが、震災後は正直心が痛い。 でも、ふと自分のことについて考えてみる。 子供にきかれた。「先生は双葉に戻りますか？」 まただ。また聞かれた。 でも私の答えは決まっている。「もちろん。」 でも、自分の未来を考えるとすることは、双葉の未来を考え、支えていかななくてはいけない、ってことだな。 大丈夫、その覚悟はある。じいちゃんの墓も守らねば。	ノート
1854	復興について	復興の加速、生活の再建、避難者の救済をお願いいたします。 いつもたくさんの支援物資有難うございます。 人に迷惑をかけず、身体に気をつけて頑張っております。	ノート
1868	仮の町の必要性を問う	復興を目的として一日も早く力を入れて頂けることをお願いいたします。 仮の町は希望するか、しないか等、もう一度アンケートを行って人数等を把握した後、受け入れ市町村を検討してはどうでしょうか。 (家族が一緒に住める場所) 双葉町に帰るのか、帰れないのか、はっきりした時期等を示してほしい。	ノート
1897	復興について	何年経っても戻る気持ちはありません。ただ、災害前のふるさとには行きたいと(30~40年後) 思います。 思い出が残っているので、その日を楽しみに毎日、元気に過ごそうと思います。	ノート
1943	帰還について	三才になる孫はあるときこんなことをふとと言う。 ばあちゃん、双葉のばあちゃんの家にはいかないの 何と答えればよいのでしょうか。	ノート
1979	双葉町再建にむけて	私が90才を過ぎた高齢者であり町民の多くの方が夢と希望を持った町民復興活動に参加と協力することができませんこと、本当に残念で堪えません。 では皆様方々の限りある知恵と力を発揮して町の再建と復興のためによりしくお願いいたします。 なお植田町は昔人絹町として発展した町であり、穏やかで温和の住みよい町であります。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1980	最後に一言	<p>双葉町役場移転先が決まりましたが、その他町の復興再建がどうなっているのかさっぱり分かりません。</p> <p>①町に戻れるのか戻れないのかさっぱり分かりません。戻れない時は町として植田町勿来近辺に双葉町の復興再建を目標に町づくりをするのかはっきり決めて下さい。またそれはいつ頃までに分かれますか。</p> <p>②私は現在91才7カ月となります。年寄り双葉町の再建復興を楽しみに期待しております。よろしく御願いたします。7000人復興会議職員一同の更なるご発展活躍を御祈りいたします。頑張ってください。</p>	ノート
1994	おわりに	<p>各問題点をあげたが、一体町が何年後に戻れる前提で7,000人の復興会議を企画しているのか見えてこないの、それで書くことも一貫性がないし、町民各自も将来についての予測も出来ないの、ガス抜き程度しか書けない。せめて、双葉町としての全体構想を作成し、例えば高齢者に対して老人ホームの建設をどうするかなど具体策を示してほしい。何故双葉町には住めないのか、放射能の観点、健康被害問題等マスコミは本当のことは教えないし、それを説明するとマスコミから消され反原発者と扱われてしまう。現在世界最大の原発事故の健康被害について、今後何十年について誰もわからないので、福島県民をモルモットとしてデータを取りたいのであろう。今後希望と未来ある双葉町にしていきたい。</p> <p>たとえ町名は消えても、その絆は残したい。</p>	ノート
1995	子供達を双葉の学校で育てたかった	<p>双葉町に帰って生活が出来るようになるには、あと何年待てば良いのでしょうか。</p> <p>一時帰宅で帰る度に荒れはてた我が家を見ると、それは叶わぬ願いだと感じます。</p> <p>子供達は今の小学校に慣れ、楽しい学校生活を送っています。双葉に帰りたいと今は言っていますが、果たしていつまでそう思ってくれるのかと思います。</p> <p>決して、今の環境に不満がある訳ではないですが、私は子供達を双葉の学校で育てたかったです。</p>	ノート
1996	子供が前に進んでいくためには	<p>自然の中でのびのびと、お友達と仲良く、しっかりとした双葉の教育方針のある学校で成長してほしい。以前、子供達は「双葉に帰りたい」と泣くこともありましたが、今ではそれもなくなりました。それは、子供が前に進んでいくためには、必要な事ですし、過去をふり返ってばかりでは子供のためにはなりません。</p> <p>子供の心の片隅にでも双葉の思い出が残っていると良いなと思います。そしていつか双葉の家に連れて行ってあげたい。</p>	ノート
2002	仮の町の生活環境について	<p>生活環境について。仮の町は、やっぱり海の近く（浜通り）が良い。海の近くなら、多くの町民が戻ってくると思う。</p> <p>私はやっぱり双葉の人間なのだ。皆もやっぱり双葉の人間なのだ。皆の気持ちをそろえて、皆でいつかは帰りたい。</p>	ノート
2006	復興への思い	早く復興してほしい。	ノート

【インターネット会議からの意見①（各会議意見へのコメント）】

※「コメント」とは、各会議会場の発言として専用ホームページ上に掲載された意見に対して、インターネットを通じて投稿された町民の意見・提案のこと。
 ※「いいね」とは、投稿された意見に対して賛同のボタンを押されたもの。

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議 (対象会場)
1201	復興とは何か	人間としての復興をまず手助けしてほしい。	1	05いわき
1201	コメント1	原発事故のせいで避難生活、原発立地地域なので事故後も原発の普及作業。被害者なのに客先が加害者なんてストレス溜まる一方。		05いわき
1233	復興計画	復興が長引くこと、高齢者はそんなに待てない。	1	05いわき
1233	コメント1	若者の中には、同じ考えを持っている方もいます。双葉町の除染や復旧に行きたいのに。		05いわき
1294	自立	自立しないといけない。	2	05いわき
1294	コメント1	特に加須に避難してる住民はね！！		05いわき
1294	コメント2	依存するのも程々に		05いわき
1294	コメント3	自己の問題だと思います。 それにブログと違いますので1スレッドで箇条書きでまとめて投稿されては如何ですか？何人かいらっしやるようですが、見る方も助かります。	1	05いわき

【インターネット会議からの意見②（HP上の意見及びコメント）】

※「HP上の意見・コメント」とは、専用ホームページに登録し、ホームページ上で投稿された町民の意見・提案のこと。

※「いいね」とは、投稿された意見に対して賛同のボタンを押されたもの。

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議
21	やっぱり双葉が良い	住んでる時は考えた事も無かったけど、一年半過ぎてやっぱり双葉町は良いとつくづく思う。いつか戻れると信じてます。そのためには今何をすべきか。みんなで考えて行きたいですね。	3	HP
21	コメント1	離れてみると、双葉町は住みやすい所でした。		HP
21	コメント2	一言では語れませんね、借上げ住宅の居間には双葉の自宅の写真を飾っています。不思議なことにその一枚の写真を見ているといくらでも思い出が溢れ出します。やりたかったことも一杯思い出します。ときどき妻もその写真を一人で見て深いため息をつきます。他県への移住も視野に入れてはいるものの、家族の誰も口にしません。やっぱり双葉に帰りたいです。		HP
26	意見を眺めていて感じること、、、	やはり皆さんの意見を見ていると、県内避難者と県外避難者では意識が大きく違うように思います。例えば同じ「復興」という言葉に関しても、県内避難者にとっては、おそらくいつか双葉に帰ることを指すでしょうし、県外避難者にとっては、新たな安全な町、共同体を示すことが多いかと思われまます。ですから、難しい問題ですが、ここを避け続けて話を進めて行くと、必ず捻れていくような気がします。 除染に関してもそうでしょう。はやく除染して元通りにして欲しいというのは誰もが思うことではと思うのですが、その効果については限りがあることが分かって来ているので、その判断によって是非が分かれるでしょう。 また生き方について、自分達の進む方向について、国や県や誰かに決めてもらうことによって自分の行き先を決めるという人と、行き先は自分で決めるという人がいるでしょう。どちらがどうだと言いたいわけではないのですが、前者だと、国が安全だ、帰れると言えば帰るということになるでしょう。これは多くの人々の事故前の原発に対する意識と一致するでしょう。これまでの延長上に私たちの町の未来はあるのか、ないのかという話だと思います。	1	HP
39	自立しようよ	いつまでも支援をアテにしないで、自分の事は自分でしよう。支援受けると甘えちゃうからね。	3	HP
39	コメント1	いつまでも、頼っていると、支援依存になっている事に気付いてない人もいるし、いくら、原発事故で避難しているといえ。		HP
39	コメント2	胸張って、大きな声で避難者ですとは、言いたくないよね。続きで、スママセン。		HP
39	コメント3	やっば、何から何まで人当てにするのは良くない。		HP
49	復興は大事だが、、、	これからの生活に不安があるという人多いでしょうが、依存性が強いと自立できないんですよ。自分の事は自分で決めるんですよ。		HP
50	自立	簡単には、自立という言葉を使うことが出来ない。自立したいと思うが、あまりにも環境が一変しすぎた。東京電力及び国に全面的に補償してもらって初めて出発点が見えてくる。それが見えたところで、人生の余裕を感じる。不安だけの状況では、自立は簡単ではない。自分を省みたときの感想である。	1	HP
50	コメント1	こんばんわ もっとも意見だと思います。例えば震災で家が流された独り暮らしの高齢者に「自立せよ」と言っても実情無理です。酷な話でしょう。		HP
52	事故から一年半	いつまで被災者でいるんでしょうか？一生依存して生きるのとは恥ずかしい事です。		HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
53	自立	<p>私は、いま自立できないことは恥ずかしいと思わない。 それ以上に精神的苦痛は、被害者全員受けたと思う。 一年半以上たっても、苦痛に悩んでいる人は少なくない。 自立の第一歩は、自分の家族を復興できる賠償。 第二歩は、双葉町の完全復興。 それから将来が見えるのでは、ないだろうか？ この状況で、人に甘えたり、頼ることは悪いとは思わない。 自殺者が、この状況でも数が少ないのが心の救いと思われる。</p>	1	HP
54	個人復興に条件関する 提案 1	<p>個人の復興は、当然ながら東電による十分なる賠償である。これから最大の賠償とされる財物賠償である。 当初政府は、自治体が解除時期を『5年間帰らず』とするならば、町民の賠償の割合は、全損扱いと報道していた。 また最近の紛争審査会の見解も放射線量が低い場合でも、隣接する地域の放射線量が高い場合（まだらな地域）は、財物の全損扱い和解を東電に促している。これに付随して他の賠償項目も5年間一律賠償を実施される。 このようなことから、町長や町会議員の考え方を一つに持ち一刻も早い現実味のある賠償金を町民全体に通知できれば、個人の復興が見えてくる。 双葉町は少なくとも上記条件に値する為、町一丸となって権利をもっと強く主張しなければならぬ。 中間貯蔵庫に関してはこれらとは別の問題であり、別項目により議論する必要がある。 これらのことが、町民が納得できれば双葉町の将来像に信頼感がより生まれてくる。よって双葉町の真の復興再生工程が現実になる。</p>		HP
62	仮の町構想について	<p>まず双葉町に将来的に帰るのか帰らないのかの議論も無しに進んでいくことに問題がある。</p>		HP
62	コメント1	<p>ガンガン書きこんでください！！</p>	1	HP
65	声を大にして叫びたい	<p>こんなにも多くの苦痛を持って叫んでいるのに、国、東電はわれわれの声に耳を傾けているのか？ 復興予算 19兆の使い道に誰しもが疑問に思うことを、平気でほぼ関係ないところに使ってしまう。 世間がそれに気づき、間違いとバッシングしていることが判ると、改めて使い道を変更しようとしている。こんな事が、まかり通ってしまう日本。私は心が痛む。 被災者地域の人々への背任行為、裏切りに近い事に思える。優先的に被災地域へ直接復興予算を使うことが、『当たり前だろう』と思う。そうすれば、被災者は少なくとも金銭的なことで悩まないのだ。 声を大にして、君たちに叫びたい。 一刻も早い復興は、地域住民の声に注意深く耳を傾け、地域住民の要望を真摯に受取り、地域住民にひたすら仕えることである。</p>	2	HP
65	コメント1	<p>政治の怠慢だと思います、被災地域の国会議員は何をしてるんでしょう。</p>	1	HP
83	仮の町じゃなくて本当の町を	<p>双葉町は帰れないぞ、何十年かは な～そ～だろ～。 町民にいくら線量浴びせるんだっての話だ。 除染なんかやっても無駄。 帰ることを考えないで、新しい町を造っていくことを提案する。 双葉町の行政が、国と踏み込んだところまできちんと話し合いをしろよ。 除染は無駄で無駄な金を使うな。</p>	4	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議
84	帰還を考える。(1)	<p>『大熊町 46%が「戻らない」 原発事故に伴う避難区域の見直しが進められている大熊町の住民を対象に町や政府が行った意向調査で、「現時点で町に戻らないと決めている」と回答した世帯が、46%に上ることがわかりました。大熊町の住民の意向調査は、町と県それに復興庁が合同で、5378世帯すべてを対象にことし9月に行い、64%にあたる3424人の世帯主から回答がありました。それによりますと、避難指示が解除されたあと、町に戻るか現時点でどう考えているか尋ねたところ、「戻らないと決めている」と答えた世帯が最も多く、46%に上り、次いで、「まだ判断がつかない」が42%、「戻りたいと考えている」は11%にとどまりました。「戻りたい」と答えた世帯を年代別に見ますと、60代以上では16%だったのに対し、30代までの若い世帯では5%で、世代間の考え方の違いが浮き彫りになった形です。 また、「戻らない」理由は、複数回答で「放射線量への不安」が81%、「原発の安全性への不安」が70%、「家が劣化し住めない」が68%などとなりました。』</p> <p>上記文章は、NHK報道の文章です。</p> <p>これを見て、多くの周りの町民は思うだろう。放射線の危険性、町としての社会再復興不安、従来の町の人々との絆不安、いろんな不安が積み重なりこの数字が示された。 この結果を国、東京電力が反省し、重く受け取らなければならない。帰還させるだけではなく、現状生活から将来が見えるより良い生活を導くのも大切である。 つまり、一人一人の要望に耳を傾けるべきである。 帰りたくないという人を帰還させるべきではなく、その人たちには、より手厚い支援、手助けが出来る国になってもらいたい。 そんな温かい社会を求める人は多い。 11月06日 19時45分</p>	1	HP
98	帰還への要望	<p>一時帰宅のたびに自分の家、庭、田畑が朽ち果て、益々荒廃する現実に自分一人では何もできない悲しみや悔しさが増していきます。国や東電主体の賠償や除染にも納得できないことばかりですが、自分は双葉町に帰還する夢はまだ諦めてはいません。ただし、帰還には条件がありますので以下に述べます。</p> <p>雇用と環境について ・屋敷周りや田畑の草刈をして、荒廃を防止したい ・除染は町民や双葉町が主体になり実施計画を立て国や東電が責任をもって行う。</p> <p>町民が除染を行う場合、危険手当もしくは給料を国が支払い、雇用の確保をする。(現状は国から依頼された警戒区域の除染作業員には原発からの距離や線量に応じて最高1万円/日、支払われている)</p> <p>居住と賠償について ・ライフラインを早期復旧して、希望者には家屋の修復と自由に帰還できるようにする。</p> <p>賠償方式は現行の精神的損害一人10万/月が良いが、帰還困難、居住制限、早期帰宅準備区別せず一律双葉町の線量が事故前に戻るまで、もしくは原発廃炉が終了するまでとし、帰還する人しない人すべての町民に支払う事。</p> <p>かなり個人的で一方的な考え方かもしれませんが、とにかく「双葉町を知らない国や東電、除染作業員に何が出来るのだろうか？」という思いで書かせていただきました。</p>	2	HP
98	コメント1	除染作業は1日最高で一万円本当ですか？		HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
98	コメント2	<p>本当です、国から依頼された警戒区域の除染に限り線量や原発からの距離に応じて最高一万円/日の危険手当が支払われています、一日ですよ・・・しかし除染を請け負う一部の会社が除染作業者に危険手当を支払っていない事が発覚し県内のニュースにも取り上げられました。もう一つついでですが福島第一原発の復旧作業に関わっている人たちには国からの危険手当は支払われていません。協力会社の人や他県から仕事を求めてくる人たちは当然安い給料、危険な原発で全面マスクを着け重労働、東電の厳しい制約を受けながら働くよりも割のいい国の除染作業の方がいいと転職する人も増えています。除染や復興の協力はありがたいことですが、双葉町を金目当てとして捉えられるのが辛く自分でやりたいこととして提案させてもらいました。</p>		HP
98	コメント3	<p>おっしゃる通り、故郷が荒廃していくのは見ていてとても耐え難い物があります。せめて荒れ果てるのは避けて欲しいというのが痛切な思いです。しかし現実としてチェルノブイリでは町がどうなったのか知るべきです。あまりにも線量が高すぎて悲しい最後を遂げました。3年後、50年後でもかまいません。帰るにしてもそれまでどこに住んでどんな人生を送るのか誰かがやってくれるのを待っていても何も起きませんから。</p>	2	HP
98	コメント4	<p>残りの人生と現在の双葉町の線量から被曝に対する影響のリスクを何度も考え、私と妻はいずれ近いうち自宅に帰ることを選択しました。子供たちが自立するまでは妻が放射能の影響のないところで育てる計画です。私は自分が望む生き方で人生を全うしたいし、いつの日か子供達や子孫が双葉町での生活をしたいと思った時に住める環境を作っておきたいのが希望です。</p>	1	HP
169	だから	<p>町に帰る、帰れない？じゃないでしょ、、元の町に戻れるなんて30年以上かかるのよ、！どれだけ高く土地を国・東電に保証させ、はやく自立する目標をたてないと、、子供達が寄り付かない、住めない場所に未来、希望など皆無です。</p>	1	HP